

会 議 の 経 過

開 議 午前10時00分

令和8年3月6日（第2日目）

予算特別委員長（氷室裕史君）

定刻になりましたので、ただいまから予算特別委員会を開会します。

ただいまの出席委員は全員です。定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

これから本日の会議を開きます。

ここで、審査の方法についてお諮りいたします。

本委員会に付託された7件の予算案の審査は議案ごとに行い、その後、予算全般にわたっての総括質疑を行うことにしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

異議なしと認めます。

よって、本委員会の審査は、議案ごとに行い、その後、予算全般にわたっての総括質疑を行うことに決定しました。

お諮りいたします。

討論は本会議で行うものとして、本委員会での討論は省略し、採決は総括質疑を行った後、議案ごとに行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

異議なしと認めます。

よって、本委員会の討論は省略し、採決は総括質疑を行った後、議案ごとに行うことに決定しました。

本日の委員会の日程は、お手元に配付のとおりです。この日程で進めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

異議なしと認めます。

したがって、この日程で進めることに決定いたしました。

これより日程に入ります。

予算特別委員長（氷室裕史君）

日程第1、議案第20号、令和8年度平泉町一般会計予算を議題とします。

担当課長の説明を求めます。

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

議案第20号、令和8年度平泉町一般会計予算につきまして、補足説明をさせていただきます。

初めに、令和8年度平泉町一般会計予算の概要について説明をさせていただきます。

資料といたしまして配付させていただいております令和8年度平泉町一般会計当初予算分析書にて説明をさせていただきます。

1ページをお開き願います。

令和8年度平泉町一般会計予算の概要でございます。

予算規模につきましては、総額で54億4,400万円となりまして、対前年度比で2億2,700万円の増、率にしまして4.4%の増、教育福祉など子育て支援、移住定住対策、産業振興、雇用対策、ごみ処理施設整備に係る予算を盛り込み編成いたしました。

まず、歳入でございますが、地方交付税、寄附金、町債の増加が見込まれますが、国、県支出金、諸収入の減が見込まれまして、財政調整基金など主要基金を一部取り崩して必要な財源を確保いたしました。

1款町税でございますが、町民税は、個人、法人ともに増加の見込みとなりまして、合わせて3,005万7,000円、11.2%の増、固定資産税は土地償却資産課税標準見込額が減少となったものの、家屋課税標準見込額の増加によりまして1.2%の増、軽自動車税は、税制改正に伴う環境性能割の減によりまして5.2%の減、町たばこ税は、加熱式たばこに係る課税方式の見直しを見込み1.1%の増、入湯税は、宿泊客及び日帰り客数の減少によりまして11.3%の減、町税全体で3,307万3,000円、4.1%増の8億3,401万5,000円と見込んでございます。

次に、7款地方消費税交付金でございますが、国、県の動向をふまえまして2,230万円、11.6%増の2億1,480万円と見込んでございます。

次に、9款地方特例交付金でございますが、税制改正に伴う地方揮発油譲与税の暫定税率、自動車税及び軽自動車税の環境性能割の廃止に係る補填分を見込み895万9,000円、208.3%増の1,326万円と見込んでございます。

次に、10款地方交付税でございますが、国の地方財政対策の動向や国勢調査人口の減少を踏まえまして、普通交付税は1,500万円の増、特別交付税は2,961万8,000円の増、合わせまして4,461万8,000円、2.0%の増、22億5,665万円と見込んでございます。

次に、14款国庫支出金でございますが、特別史跡無量光院跡公有化事業補助金1億985万3,000円の減、無電柱化推進事業費補助金3,025万円の減など1億2,866万4,000円、24.9%減の3億8,799万5,000円と見込んでございます。

次に、15款県支出金でございますが、特別史跡無量光院跡公有化事業補助金の減、参議院議員選挙委託金の減などによりまして1,597万4,000円、4.9%減の3億1,206万5,000円と見込んでございます。

次に、18款繰入金でございますが、予算書においては32ページ、33ページに記載のとおりでございますが、基金の取崩し額は、財政調整基金は2億4,974万8,000円、減債基金2,915万5,000円、

ふるさと応援寄附基金 1 億7,040万円、まち・ひと・しごと創生推進基金75万円、福祉振興基金 81万円、文化観光振興基金1,910万円、世界遺産推進基金400万円、合計で 4 億7,396万3,000円となりまして、前年度と比較いたしますと1,486万2,000円、3.2%の増となっております。当初予算編成での取崩しによりまして、財政調整基金は 9 億85万6,000円、基金全体では14億4,978万2,000円となる見通しでございます。

次に、21款町債でございますが、ごみ処理施設整備事業は対前年比 2 億4,290万円、1,364.6%の増、2 億6,070万円と見込んでおりまして、町債全体で 1 億8,090万円、72.6%の増と見込んでございます。

次に、歳出でございますが、予算分析書 6 ページ（2）、性質別歳出の状況をご覧ください。

初めに、1 の人件費でございますが、前年度比較で2,623万1,000円、2.1%の減となっております。主な要因といたしましては、特別職では国勢調査終了に伴う調査員報酬の減、一般職においては共済費及び退職手当負担金の見直しに伴う減、会計年度任用職員数の減少などによります減などとなっております。

次に、2 の物件費でございますが、旧平泉町公民館解体事業が終了いたしました、ふるさと納税推進業務委託料や庁内 LAN システム賃貸借料の増加などによりまして、全体で1,662万8,000円、1.8%の増となっております。

次に、3 の維持補修費でございますが、北上川上流堤防除草業務委託料や道路除草委託料などの減によりまして1,555万9,000円、12.9%の減となっております。

次に、4 の扶助費でございますが、介護給付費、訓練等給付費の増などによりまして1,963万2,000円、3.4%の増となっております。

次に、5 の補助費等でございますが、ごみ処理施設整備事業の増加に伴う一関地区広域行政組合負担金の増など 2 億7,496万4,000円、28.6%の増となっております。

次に、6 の公債費でございますが、防災行政無線デジタル化事業債の増などによりまして2,094万8,000円、4.7%の増となっております。

次に、7 の積立金でございますが、ふるさと応援寄附基金等の増によりまして 1 億2,753万円、114.2%の増となっております。

次に、8 の投資及び出資金でございますが、水道事業会計出資金の減などによりまして1,446万7,000円、11.9%の減となっております。

次に、9 の繰出金でございますが、後期高齢者医療特別会計繰出金や岩手県後期高齢者医療広域連合分担金への繰出しの増などによりまして534万2,000円、2.2%の増となっております。

次に、10の投資的経費でございますが、無量光院跡公有化事業の減などによりまして 1 億8,178万7,000円、37.3%の減となっております。

なお、義務的経費につきましては、扶助費、公債費につきましては増額、人件費が減額となっておりますが、歳出全体の41.6%となっております。ここ 8 年間においては40%台で推移しております。類似団体の平均と比較いたしますと高い傾向が続いている状況でございます。

それでは、令和 8 年度平泉町一般会計、特別会計、下水道事業会計、水道事業会計予算書の 2

ページをお開き願います。

第1表、歳入歳出予算で説明させていただきますが、款項同額の場合は項の額で説明いたします。

初めに、歳入でございます。

1 款町税 8 億3,401万5,000円、1 項町民税 2 億9,956万9,000円、2 項固定資産税 4 億2,931万2,000円、3 項軽自動車税3,094万9,000円、4 項町たばこ税6,619万4,000円、5 項入湯税799万1,000円。

2 款地方譲与税6,680万円、1 項地方揮発油譲与税1,320万円、2 項自動車重量譲与税4,890万円、3 項森林環境譲与税470万円。

3 款利子割交付金、1 項利子割交付金73万円。

4 款配当割交付金、1 項配当割交付金280万円。

5 款株式等譲渡所得割交付金、1 項株式等譲渡所得割交付金280万円。

6 款法人事業税交付金、1 項法人事業税交付金1,350万円。

7 款地方消費税交付金、1 項地方消費税交付金 2 億1,480万円。

8 款環境性能割交付金、1 項環境性能割交付金10万円。

9 款地方特例交付金、1 項地方特例交付金1,326万円。

3 ページでございます。

10 款地方交付税、1 項地方交付税22億5,665万円。

11 款交通安全対策特別交付金、1 項交通安全対策特別交付金90万円。

12 款分担金及び負担金、1 項負担金1,191万3,000円。

13 款使用料及び手数料3,872万9,000円、1 項使用料3,503万5,000円、2 項手数料369万4,000円。

14 款国庫支出金 3 億8,799万5,000円、1 項国庫負担金 2 億2,196万5,000円、2 項国庫補助金 1 億6,460万1,000円、3 項委託金142万9,000円でございます。

15 款県支出金 3 億1,206万5,000円、1 項県負担金 1 億1,112万2,000円、2 項県補助金 1 億8,524万6,000円、3 項委託金1,569万7,000円。

16 款財産収入4,097万9,000円、1 項財産運用収入3,628万1,000円、2 項財産売却収入469万8,000円。

17 款寄附金、1 項寄附金 2 億1,000万2,000円。

18 款繰入金 4 億7,696万3,000円、1 項特別会計繰入金300万円。

4 ページをお開き願います。

2 項基金繰入金 4 億7,396万3,000円。

19 款繰越金、1 項繰越金1,000円。

20 款諸収入 1 億2,879万8,000円、1 項延滞金、加算金及び過料 5 万円、2 項町預金利子1,000円、3 項貸付金元利収入2,875万1,000円、4 項受託事業収入40万8,000円、5 項雑入9,958万8,000円。

21 款町債、1 項町債 4 億3,020万円。

歳入合計54億4,400万円でございます。

次に、5ページをお開き願います。

歳出でございます。

1 款議会費、1 項議会費8,200万7,000円。

2 款総務費10億4,201万2,000円、1 項総務管理費 8 億7,442万7,000円、2 項徴税費9,418万2,000円、3 項戸籍住民基本台帳費5,254万1,000円、4 項選挙費993万8,000円、5 項統計調査費970万4,000円、6 項監査委員費122万円。

3 款民生費13億418万6,000円、1 項社会福祉費 7 億7,296万6,000円、2 項児童福祉費 5 億3,119万円、3 項災害救助費 3 万円。

4 款衛生費 6 億7,574万円、1 項保健衛生費 2 億745万9,000円、2 項清掃費 4 億6,828万1,000円。

5 款労働費、1 項労働諸費121万2,000円。

6 款農林水産業費 3 億2,185万8,000円、1 項農業費 2 億9,188万5,000円、2 項林業費2,997万3,000円。

7 款商工費、1 項商工費 1 億6,062万8,000円。

8 款土木費 4 億1,500万6,000円。

6 ページをお開き願います。

1 項土木管理費2,919万1,000円、2 項道路橋梁費 1 億7,091万1,000円、3 項河川費2,295万3,000円、4 項都市計画費 1 億4,807万5,000円、5 項住宅費4,387万6,000円。

9 款消防費、1 項消防費 2 億530万円。

10 款教育費 7 億5,650万1,000円、1 項教育総務費 1 億2,869万1,000円、2 項小学校費 1 億6,924万1,000円、3 項中学校費8,730万9,000円、4 項社会教育費 3 億5,458万9,000円、5 項保健体育費1,667万1,000円。

11 款災害復旧費、1 項公共土木施設災害復旧費370万円。

12 款公債費、1 項公債費 4 億6,584万9,000円。

13 款諸支出金、1 項普通財産取得費1,000円。

14 款予備費、1 項予備費1,000万円。

歳出合計54億4,400万円でございます。

次に、7ページをお開き願います。

第2表、債務負担行為でございます。

事項別に説明いたします。

令和8年度平泉町企業奨励条例に基づく資金の借入金に対する利子補給につきましては、期間は令和9年度から令和11年度まで。限度額は、借入金2億円に対する利子補給（年利1.5%以内）725万円以内の額でございます。

令和8年度平泉町中小企業振興資金の融資に伴う利子補給につきましては、期間は令和9年度から令和15年度まで。限度額は、中小企業者等が借り入れする中小企業振興資金2億3,000万円

に対する利子年2.0%以内の額でございます。

次に、8ページをお開き願います。

第3表、地方債でございます。

起債の目的別に限度額を説明いたします。

水道事業会計出資金2,230万円。ごみ処理施設整備事業2億6,070万円。農村地域防災減災事業490万円。基幹水利施設ストックマネジメント事業550万円。道路橋梁改良事業7,090万円。緊急浚渫推進事業1,500万円。公営住宅改修事業1,200万円。消防車両購入事業1,380万円。公立学校情報機器整備事業1,680万円。特別史跡無量光院跡保存修理事業830万円。限度額合計4億3,020万円。いずれも、起債の方法は証書借入れまたは証券発行、利率は5.0%以内、ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率。償還の方法は、政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定する。ただし、町財政の都合により据置期間及び償還期間を短縮し、または繰上償還もしくは低利に借換えすることができるとしようとするものでございます。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

これで説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑、答弁にあつては、会議規則第53条に基づき、簡明な発言により議事の進行にご協力いただきますようお願いいたします。

発言の際は、予算書のページ数、款項目節をお示し願います。

初めに、7ページの第2表、債務負担行為及び8ページの第3表、地方債についてご発言願います。

6番、三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

8ページの件でありますけれども、地方債の関係で、従来3%だったものが5%になった、金利上昇というものはあるのだと思うのですが、この辺についてちゃんと交渉したのかとかいうか、民間であれば最近聞いたところでも、従来3%だったのが交渉して今、5%ですけれども、3.2に抑えたという話はよく聞くわけです。そういう点で、そういった債務する場合でも金利負担を減らすという点で、その辺はどうなっていたのかなと伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

この利率の見直しにおきましては、国とか県からの情報によりまして、または金融機関との協議等を行って確認しながら、令和7年度の3月の補正予算でも同様の対応を行う予定でございまして、これにつきましては、3.0から5.0に見直すということ、この5.0という数字につきましてもこの範囲内で対応できるというところをしっかりと算定した上で今回ご提案させていただ

ているところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、歳入歳出予算事項別明細書により質疑を行います。

初めに、歳入を行います。

11ページから15ページの1款町税について発言願います。

3番、大友仁子委員。

3番（大友仁子君）

11ページの歳入で、個人の納税見込み者数の件なのですが、令和7年度よりもこの人数が78名増になっているのですが、この人口減少の中で、なぜ78名増になっているのかお伺いします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

納税見込み者数の78名増ということの内容でございますけれども、こちらにつきましては、給与水準の引上げや、それから、コメの買取り価格の上昇により所得が増えたというようなことで増員というふうになってございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

6番、三枚山光裕委員。

6番（三枚山光裕君）

町税の法人のほうでありますけれども、11ページです、185社納税義務者ということになっていますが、この間191前年度、前前年度190というふうに予算上なっていましたが、結局廃業とかそういう状況になっているということもあるのでしょうか、伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

前年度に比較いたしますと、7社の減ということで見積りをさせていただいております。こちらにつきましては、個人の事業主の休廃止というようなところで見込んでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

6番、三枚山光裕委員。

6番（三枚山光裕君）

入湯税についてです。

いろいろ町民温泉、福祉交流館の経営改善といいますか、それから、利用促進とか、あるいは

観光の促進ということを図っていくというようなことになっていると思うのです。そういう中で減っていると。前年度は900万円ぐらいだったと思うのです。令和6年度決算では入り込みで130ぐらい増えているという状況なのですが、令和7年度まだ途中なわけですが、その辺の入場あるいは決算状況といいますか入湯税の状況なども含めてどういう状況なのか伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

令和7年度の決算見込みということで申し上げたいと思います。

本3月会議の補正予算にて、入湯税につきましては、補正額マイナス60万円ということで、補正後の予算840万5,000円というふうな見込みでございます。こちらについては、日帰り客の減少というところが大きい内容となっております。それらも含めまして、令和8年度の入湯税の見込みを立てております。

以上です。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

5番、阿部圭二委員。

5番（阿部圭二君）

11ページなのですが、法人に関する法人税見込額が増えているのですけれども、これはやはり賃金とか高くなるということと売上げが増すということなののでしょうか。見込額が増えていますけれども、その理由をと。

予算特別委員長（氷室裕史君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

法人税割額見込額が増加しているということでのご質問でよろしいでしょうか。

こちらにつきましては、法人者数につきましては、先ほどご質問ございましたように減というふうになってございますけれども、製造業ですとかそういったところの業績好調というような見込みが立ってございましたので、そういった内容で見積りをさせていただいております。

以上です。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、15ページから19ページの2款地方譲与税、3款利子割交付金、4款配当割交付金、5款株式等譲渡所得割交付金、6款法人事業税交付金、7款地方消費税交付金、8款環境性能割交付金、9款地方特例交付金、10款地方交付税、11款交通安全対策特別交付金についてご発言願いま

す。

7 番、真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

16ページ、3 款の利子割交付金について確認をしておきたいと思うのですが、これは、対前年比50万円の増ということでの見込みになっておりますが、この預貯金の利息部分の源泉された県民税からの再配分ということになるかと思うのですが、これは法人、個人ともにでありますでしょうか。個人だけだったでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

利子割交付金の原資といいますかにつきましては、個人住民税の利子割、こちらを財源に都道府県が市町村へ配分する交付金となっております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

その配分率というのは、あくまでもその市町村の経済、いわゆる基本税のほうへ源泉された部分での配分の、その配分率は何割ぐらいの配分になるのでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

その利子割につきましては、預貯金等の利子に対する都道府県民税標準税率5%が財源になっているという部分は把握してございますが、その各市町村への配分率といったものにつきましては、こちらでは掌握はしてございません。

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

同様に、4 款の配当割交付金についても確認をしておきたいと思うのですが、これも、株式の配当金からの所得税、住民税からの配当の戻しだと思うのですが、これも個人対応、法人は除外ということになりますか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

今、委員がおっしゃられたとおり個人住民税の配当割り、こちらは上場株式等の配当等に対する都道府県民税、県民税の標準税率5%の収入を配分しているということでございますので、証券会社等が源泉徴収をし都道府県へ、そして、それが市町村へ交付されるというような流れとなっております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

公平性を担保するには、やはり市町村の配分率というのは、当然のことながら経済活動に準拠して支払われるという、配分されるということになりますか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩淵嘉之君）

都道府県民税ということでございますので、県民税が原資ということでございますから、その平泉町民といいますか、そういったことでの関連性というのは当然大きく影響しているということでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

もう一点、最後に、交付される月といいますか交付される時期というのは、いつになっての見込みを捉えたわけですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩淵嘉之君）

それぞれの交付金の交付時期につきましては、ちょっと今、即答しかねますので、それは年間を通じて何期に分かれて、いつの時期かというご質問でよろしいですか。

その時期について明確な答弁は、今、手元に資料がございませんので、何期かに分けて交付を受けているというような状況ではございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈委員、後刻の答弁でよろしいですか。

ほかにございませんか。

真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

19ページの10款地方交付税についてお伺いしますが、この中の特別交付税が大きく伸長しておりますわけですが、これは地域おこし協力隊か何かのものですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩淵嘉之君）

地域おこし協力隊にかかる経費について、これまでも特別交付税で見えていただいておりますので、今回もいろいろなこちらからの申請を基に算定されたもので、委員がおっしゃられたとおりその分の増額分につきましては、令和8年度に行う地域おこし協力隊にかかる経費の増額という

ふうに捉えてよろしいかと思えます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈委員、よろしいでしょうか。

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、19ページから22ページの12款分担金及び負担金、13款使用料及び手数料についてご発言願います。

1 番、小埜寺享委員。

1 番（小埜寺享君）

22ページの14款国庫支出金の1項 1 目民生費国庫負担金の中の障害者介護給付費等負担金と、その下の3節の……。

予算特別委員長（氷室裕史君）

小埜寺委員。

まだ国庫支出金までは入っておりませんので。

1 番（小埜寺享君）

すみません、申し訳ないです。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

6 番、三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

21ページ、4目教育使用料のところで、4節テニスコートの使用料、たしか照明の修繕だったかあったような気もしたのですが、前年度、この間、ずっと施設使用料テニスコートは増えているのですが、利用状況うんと増えているのかなということが1つです。

それから、5節学習交流施設使用料のところなのですが、これ令和6年度決算で31万5,000円になっているのですが、ずっと12万円の計上になっているという点でいかがですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

まず、テニスコートの使用状況というような形で、照明、手数料につきましてでございますが、こちらのほうに関しましては、天候等に左右されるといったようなところではございますが、例年並みの使用は確保しているというようなところがございますし、学習交流施設の利用料というようなところがございますが、こちらに関しましては、当事務局のほうでいろいろと見込んでいるわけではございますが、多目的ホール、研修室、和室、あとは調理室といったようなところでそれぞれの時間等を見込みながらということで12万円といったような計上をしているといったよ

うなところでございます。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

令和6年度も審議のときに、学習交流館のことなのですが、300時間40団体というふう
にたしか答弁あったのですが、こういう点でこの利用状況というのはどうなっていますか
ね。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

利用状況につきましては、各種、多目的ホール、研修室等の利用状況に関しましては増加傾向
というような形で推移しているというような状況でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

今、言ったように300時間40団体と明確な答弁いただいたので、その辺は数値はつかんでいな
いのですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

今、ちょっと手元に資料がございませんので、現段階では明確な答弁はできないというような
状況でございます。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山委員、後刻の答弁でよろしいですか。

6 番（三枚山光裕君）

いいです。

予算特別委員長（氷室裕史君）

7 番、真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

同じく、その13款の使用料及び手数料ですが、1項3目1節の町営住宅使用料についてお伺
いしますが、入居者数が減っているのかどうか、住宅の使用料が減額になってございますが、現
在の入居者数との……

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈委員、ページ数はどちらになりますか。

7 番（真竈光幸君）

20ページと21ページにまたがっておりますが、町営住宅は20ページです、町営住宅の使用料ということで、現年度分が減額になっておるわけですが、これの事由、現在の入居者数が減ったことによるものなのか、それから、もう一点が、過年度分が増えておるということで、これは滞納分がかさんでいるのかということをお聞かせいただければ。

予算特別委員長（氷室裕史君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

町営住宅の使用料の減につきましてですけれども、入居者数、昨年度の119戸から今年度は113戸で6戸の減による現年度分の金額の減でございます。過年度分につきましては、物価高騰による生活困窮によってのもので、滞納者の増ということでの増でございます。

以上です。

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

同じく、3節行政財産目的外使用料についても、これも減になっておる、町営住宅の目的外使用料が減っておりますが、これは、お試し居住が減ったとかその辺の事由ですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

お試し居住体験事業、2戸分見ていましたが、今年は1戸ということでの見積りで12万1,000円の減という見積りでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

小埜寺享委員。

1 番（小埜寺享君）

20ページの13款の2目の農林使用料の1節西行桜の森施設使用料なのですけれども、今回、500円に上げるということで、これは、例えば周辺のキャンプ場の利用料を参考にして500円にしたと思うのですけれども、きちんとその辺は調べて今回値上げしてこの金額になったのかどうか、お伺いいたします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

条例改正のほうで申し上げる部分でございますけれども、近隣の同様のキャンプ場というのはなかなかないわけですが、それに他県のほうの例とかも参考にしまして、それで500円というような料金設定をしたいというところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、22ページから30ページの14款国庫支出金、15款県支出金についてご発言願います。

1 番、小埜寺享委員。

1 番（小埜寺享君）

ページ数で22ページの14款国庫支出金の1項1目民生費国庫負担金のほうなのですが、先に障害者介護給付等負担金並びに、その下の障害児入所給付費等負担金、県も同じなのですが、これ年々上がっているようなのですが、結局障がい者の方がどんどん利用しているというふうな感覚でよろしいですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

22ページ、14款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金の1節障害者福祉費負担金並びに3節の障害児入所給付費等負担金につきましては、利用が増えるという場合もありますし、サービスの利用が増えるといったところで、やはり日常生活、生活支援に関する介護の給付ですとか訓練等の給付に関してそれぞれに合ったサービスを提供するという事で増加しているということでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

24ページの14款2項5目教育費国庫補助金の3節文化財費補助金の平泉の文化遺産文化観光推進事業補助金、ありますが、この966万6,000円ですが、これの補助事業内容についてお知らせ願いたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

高橋文化遺産センター館長。

平泉文化遺産センター館長（高橋国博君）

文化観光推進基金の補助金についてでございますが、これにつきましては、文化観光推進法に基づく地域計画に基づきまして実施する事業ということになります。

文化遺産センターのほうでは、来年度につきましては、デジタルサイネージとか、あと、展示室の映像更新と、3本あります映像更新を1本つくって1本にするといったものでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、30ページから33ページの16款財産収入、17款寄附金、18款繰入金についてご発言願います。

7 番、真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

31ページの1目不動産売払収入であります、1節の土地売払代金のこの場所はどこでしたですかね。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

こちらは、主要地方道一関北上線の改良事業に係る町有地の売却となりますので、具体的には砂子沢地内となるものですが、ちょうど平泉ワイナリーとかがあった付近の町有地で道路にかかる予定のところを、今回、県のほうから買収していただくというような内容でございます。

土地の筆数は2筆というふうなことでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、33ページから37ページの19款繰越金、20款諸収入、21款町債についてご発言願います。

2 番、千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

35ページの20款5項1目4節雑入の認定こども園給食費負担金302万2,000円と、あと、関連するので、36ページの真ん中より下なのですけれども、認定こども園給食費保護者負担金228万1,000円とありますが、この負担金の内容と違いについてお知らせお願いしたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

35ページの認定こども園の給食費の負担金、これは、保育士分の負担になります。それから、36ページの認定こども園の給食費保護者負担金というのは、副食費、おやつ込みで1人4,500円ということで、人数につきましては、二葉きらり園と長島こども園を合わせて41名分の負担金ということになります。

以上です。

予算特別委員長（氷室裕史君）

11番、升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

36ページの5項雑入なのですが、真ん中からちょっと下辺りに、デジタル基盤改革支援補助金、これが613万円ということに計上されております。前年度、これが6,000万円ほどという形で、今回は減っているわけなのですが、この補助金の内容についてお知らせください。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

こちらにつきましては、地方公共団体情報システム運用に関する分で、いわゆる自治体情報システムの標準化、共通化に関わり、戸籍システムの標準化事業を令和8年度には予定しております。こちらのガバメントクラウドといいますけれども、国と全国をネットワークで通信を結ぶというようなところを、こちらの環境設定でありますとか、標準準拠システム利用に必要な設定等を、あるいは職員への研修費用も含めて613万8,000円を事業費としてこちらで見込むものに対する関係団体からの補助を受けるということで、国県等の補助ではないために雑入として今回受けるというような内容でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

昨年在結構多額の補助を受けているようですけれども、これは政府とか国からのものではないということなのでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

こちらは、国の取り組みといいますか、令和8年度のこの部分を全国の自治体にということで、基本的には令和7年度、本年度中に、全国が一律に標準化、共通化を終了する予定でしたが、まだ全国的には終了が終わってない部分がございます。令和8年度におきましては戸籍システムの標準化事業として国から指定されたものでございまして、先ほど関係団体と言いましたけれどもJ-LISというような略で示されているのですけれども、国からこの共通化、標準化の委託を受けている公的な団体がございまして、こちらからの補助ということになります。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

この要求というかは、令和8年度総務省予算の概算要求の中にこの予算に関しては、令和13年度まで延ばすというような形が書いておりますけれども、これは、今後も続く予算と考えてよろしいでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

それぞれ国の示されたスケジュールに従って、それぞれの自治体において計画的に実施しているということでございますので、今後令和8年度から本当は共通してスタートということですが、一部スタートというような形になっている状況でございますので、この全国一律の動きの中で平泉町はそれに対応していくということでございますので、そのような見込みでございますので、その継続性につきましては、国のこういったデジタル化とかそういった動きに合わせるというような形で遅滞なく取り組んでまいりたいと思っています。

予算特別委員長（氷室裕史君）

以上で歳入を終わります。

ここで、暫時休憩いたします。

休憩 午前10時59分

再開 午前11時14分

予算特別委員長（氷室裕史君）

再開いたします。

先ほどの真筆委員及び升沢委員からの質問に対し、岩渕総務課長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

先ほど真筆委員から、予算書16ページの3款利子割交付金、4款配当割交付金の交付時期についてのご質問がございましたので、お答えいたします。

この2つとも3期に分けて交付されるものでございまして、交付時期につきましては、8月、12月、3月ということでございます。

また、升沢委員のご質問の中で、予算書の36ページの20款諸収入5項雑入のデジタル基盤改革支援補助金に関しましてでございますが、まずは交付される団体につきましては、地方公共団体情報システム機構でございましたし、私の説明が漏れていましたが、先ほど申し上げた戸籍システムの標準化事業、戸籍附票システムにつきましては、平泉町におきましてもこれを今、全て終了したわけではなくて一部分がまだ稼働していない部分がございますので、稼働していない部分につきましては、経過措置の必要性を認められたシステムということで、令和7年度に実施予定だったものを令和8年度に一部の部分を行うという経費につきましては613万8,000円ということで認められておりますということでございました。

おわびして訂正いたします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

よろしいでしょうか。

それでは、これより歳出に入ります。

39ページから41ページの1款議会費について発言願います。

(「進行」の声あり)

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、41ページから55ページの2款総務費のうち1項総務管理費についてご発言願います。

6番、三枚山光裕委員。

6番（三枚山光裕君）

44ページ、14節工事請負費のエアコン設置工事費となっております183万3,000円、これはどういう内容でしょうか、伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

44ページの14款の工事請負費エアコン設置工事費183万3,000円でございますが、近年の地球温暖化によるこの状況、役場の中でもエアコンといいますか全館冷房をしているところですが、特に職員が感じる状況の中では、熱中症等もかなり深刻な懸念がございまして、そういった意味から2階フロアと1階フロア、具体的には総務課の前と町民福祉課のところに個別のエアコンを設置し、また、町民福祉課のエアコンにつきましては、日直等が勤務する際に全館冷房はできませんので、個別の冷房を行って、未然に被害を防ぐといったような趣旨で今回設置を予定しているものでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山光裕委員。

6番（三枚山光裕君）

全館ということで、度々この議場だったかいろいろ不具合というのはよく発生して、私も議会のほうも去年全然機能しなかったということもあったもので、そういったことも含めて全館の議会の事務局なども含めて改善は図られるという点では予算措置はなかったのかなということでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

そうですね、全館冷房でその辺を対応できればいいとは思いますが、主に今回は1階フロアの日直の業務のことでの対応というのが主でございましたし、また、全館冷房というようなところにつきましても、検討は行ってございましたけれども、なかなか経費に見合った効果といった部分で、見えてきていない部分がございましたので、まずは個別の対応で、現在の問題となっている箇所をピンポイントで対応していくというような手法で考えてございました。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

3 番、大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

42ページの時間外手当785万円あるのですが、前年度比73万円増となっているこの根拠は何でしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

人件費、特に時間外手当の増につきましては、時間数につきましては、同じような算定でございますが、人事院勧告の給与改定に伴い、職員の給与の単価が上がってございますので、そういった形での対応となつてございますので、時間外の縮減につきましては、行財政改革の中で取り組んでおりますので、決して時間数を増やすというような見込みではございませんので、ご理解いただきたいと存じます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

次に、43ページです。

10節需用費409,000円なのですが、前年比は260万円となっております。この内容についてお知らせ願います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

少し資料の確認に時間がかかりますので後刻の答弁とさせていただきたいと存じます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友委員、後刻の答弁でよろしいですか。

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

48ページの6目企画費の中の10節需用費の食糧費59万1,000円なのですが、これは、今年度初めて計上になっているみたいなのですが、この内容についてお知らせ願います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

48ページ、企画費の中の10節の食糧費59万1,000円でございますが、令和8年度は国際交流の中で、ドイツ、シュパイヤー市の訪問団の受入れと中国、天台県の訪問団の受入れ、2つ予定をしてございまして、ドイツシュパイヤー市からの訪問団については、31名分の滞在期間中の歓迎

行事の飲食料品代、それから、天台县につきましては、11名分の歓迎行事の際の飲食料品代ということになってございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

次に、49ページの12節委託料の中で、旅行手配業務委託料75万2,000円、これの詳細についてお聞きします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

49ページの委託料の中の旅行手配業務委託料でございますが、こちらは、昨年、中国天台县の政府の方がお出でいただいた際に、これまで二度ほど中国天台县への訪問を要請されていたのですが、ここ2年ほど行事と重なってお断りをしていたということがございましたが、協定締結15周年に合わせて、令和8年度はぜひというふうな正式なご案内をいただいたことから、天台县を訪問する際の旅行手配を依頼する業務内容でございます。

訪問日程については3泊4日、これの旅行手配を予定してございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

先ほどの委員のご質問でございます。

庁舎管理費にかかる修繕料の増となってございまして、ページ数は、43ページ、こちら、庁舎敷地内のオイル地下タンクの内面加工ということで、腐食等の防止というようなところの施工する工事が330万円ほど予定してございまして、これからが通常の修繕に加えて、大きな増の要因となっております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

次に、49ページの地域おこし協力隊業務委託料4,950万円、これは、来年度も9人という枠での予算でしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

地域おこし協力隊業務委託料については、そのとおり9名ということですが、内訳については、1人当たり550万円となってございまして、さらにその内訳は報酬部分が350万円、活動費が200万円、これの9人分ということで4,950万円となります。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

その下の下の地域おこし協力隊中間支援業務委託料200万円なのですが、これの内容についてお知らせください。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

同じく49ページの委託料の中の地域おこし協力隊中間支援業務委託料200万円の内訳ですが、人数が増えてきましたので、なかなか1人の職員が9人分全部サポートするというのが厳しいという状況の中で、令和7年度から導入をしてございまして、内容につきましては、日々の業務サポートということで、毎月報告を頂いているわけですが、活動日誌、その取りまとめ、それから、年間の活動費200万円の取扱いに関する取りまとめ、それから、初任者研修の実施、それから、ステップアップ研修の実施、年度末の活動報告会の実施といったものが内容に含まれてございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友委員、よろしいでしょうか。

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

次に、50ページ。

世界遺産登録15周年記念事業実行委員会負担金80万円なのですが、これは具体的な事業内容についてお知らせください。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

50ページの18節負担金補助及び交付金の中の世界遺産登録15周年記念事業実行委員会負担金80万円ですが、いよいよ令和8年度は、15周年を迎えるということで、実行委員会では各構成団体が実施をいたします事業を取りまとめて住民の皆様に周知をするというふうな役割を持っていますが、実行委員会の主催する事業といたしまして、この80万円の使用の使途でございまして、開会式オープニングセレモニーとクロージングセレモニーを開催することにしてございますので、その司会者であったりとか出演者への謝礼金、それから、年間のイベントの一覧を掲載しましたチラシを増刷する、それから、役場庁舎に横断幕といいますか横の幕を15周年記念というふうな幕を作成をし、年間を通じて掲示をするというふうな費用を含めて80万円と見積もっているところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

次に、地域おこし協力隊起業・事業承継補助金300万円あるのですが、これは地域おこし協力隊のこういった内容でしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

同じく50ページの18節地域おこし協力隊起業・事業承継補助金でございますが、国の制度におきまして、採用2年目から、最大3年間の任期があるわけですが、1年目は活用できない補助金でして、2年目以降に企業あるいは事業承継された方に1人当たり100万円という補助金が交付されますので、来年度は3名を見込んで100万円掛ける3名分予算計上させていただいたところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

次に、生活交通路線維持費補助金367万5,000円、これは新規だと思うのですが、この内容についてお知らせください。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

同じく50ページの生活交通路線維持費補助金、新規でございます。これは、具体の路線で申し上げますと、岩手県交通で運行しております瀬原から一関駅までの路線バスでございますが、これが国庫補助路線というふうになってございまして、これまでは、赤字路線なのですけれども、この赤字部分については岩手交通が自己負担でずっと運行していたというところでございまして、いよいよその赤字が膨らんできていて、廃止も検討しなければいけないという状況の中で、当町にも補助の要請があったところでございます。

額的には、ここにお示しの367万5,000円ということでございますが、この額につきましては国の補助金の額と同額、同じく県でも同じ額を補助をしてございまして、県、国と同額を補助するというところでございます。

なお、この補助がない場合は廃止をするという方向性でございましたので、当町としましては、特に児童の通学に定期券で使われている路線であったりとか、あとは、観光客が使われている路線ということもございまして、例えばこれが廃止になった際には、この補助額以上の対策を講じていかなければならないということもございまして、県交通との話し合いの中で、何とかこの額で国県と同額で運行を維持してほしいというふうな協議の下、来年度については、この額で何とか現状の運行を継続していただけるというふうな協議が調ったことから、予算要求を計上させていただいたところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

次に、若者・移住者空き家住まい支援事業費補助金とか移住支援金とかあるのですが、これの実績はどのぐらいなのでしょう。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

50ページの若者・移住者空き家住まい支援事業費補助金、それから、51ページにまたがりますが、移住支援金、地方就職支援金の実績ですが、移住支援金、地方就職支援金につきましては、令和7年度から実施をしておりますが、この3つ全てまだ実績はございません。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

最後になります。52ページです。

7目18節負担金補助及び交付金の中で、高齢者運転免許証自主返納者支援女性金とあるのですが、前年度まで予算計上になっていた後づけ急発進抑制装置補助金、これがなくなっているのですけれども、なぜでしょう。

予算特別委員長（氷室裕史君）

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

予算書では52ページの18節の負担金補助及び交付金の中で後づけ急発進の補助ということで、令和7年度まで実施をしたということで、当初、3か年というところで始めたということで、今年度が最終ということで、計画がされていたというところでございました。

今年度最終年度ということで、広報なり班回覧等のチラシ等を配りながら事業の実施について、周知を図ったというところでございまして、令和7年度で終了というような内容で今回令和8年度は計上していないというところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

その件なのですが、今後もし利用したいという人がいたならばどうなされますか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

そういった事業の要望等があれば、そういった状況を把握した上で事業実施に向けたところを内部で検討してまいりたいと考えてございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

高齢化社会なので、多分どんどん増える要素はあるのですので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

7 番、真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

45ページの2款総務費1項の3目の財政管理費、ふるさと納税にかかる件でお伺いをいたしましたと思いますが、予算上歳入の部分では、指定寄附金を2億円を見込んでおるわけですが、それに関連する11節の役務費、それから、12節の委託料、46ページにまたがりますが、収納代行手数料、それから、ポータルサイトの受付料、そして、推進業務の委託料と、ここが2億円の歳入予算見込みに対してほぼ1億円に近い金額が計上されておるわけです。ということは、いわゆる町の取り分の50%をクリアするというものに対して、やはり手数料が少しかかり過ぎだということになるかと思うのですが、この辺りの見直しも含めて代行手数料関係の引受先、それから、手数料の軽減については何か検討されておるのでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

あくまでも今、委員がおっしゃられたとおり、5割以内に経費を抑えるというようなところのルールに基づきまして、事業者の請け負う際、全国の自治体と同様の扱いで手数料が決まっていともあるところもあれば、あとは、実際に請け負う大本といいますか直接的な業務委託を行うところとは、直接的に交渉できる部分がございます。

今回は契約を締結しており、今後契約を見直す際にそういったことも併せて、なお、国のルールも経費が結局市町村にしっかりと税として納付されるというようなところで改善を求められておりまして、何年かかけて5割というルールも6割まで持っていくというような国の方向性が示されておりますので、そういった状況も踏まえまして、さらには現在のいろんな経費の見直しといたしますか事業者任せにせずチェックを行いながら対応する必要があるというふうに感じてございますので、今、委員がご指摘のとおり慎重に進めさせていただきたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

その受付された寄附の総額に対しての代行手数料のパーセントなのか、それとも、あくまでも件数に対してその代行手数料の金額が変わってくるのか、その点で見直しを十分にやっていただきたいというふうに思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

ルールといたしましては、寄附金額に対するということでございますので、例えば、それが寄附金額の委託料が7%とかそれが税込みになりますと7.7%とかになりますので、そういったところは他の自治体の状況等も踏まえまして、最終的には平泉町の収入増につながるようなその辺の交渉は行っていきたいというふうに考えてございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

最初に49ページ、6目企画費の12節委託料です。

コミュニティバスの運行委託料についてですけれども、これ町民の足を確保ということは必要なことなのですけれども、480万円、540万円と来て、年度、600万円というふうに今年度の案となっております。今の利用状況、33万円ぐらいですか、令和6年度決算で乗車料金が入っているのですけれども、乗車の状況、どのぐらい増えているとかということと、この委託料の上昇分というのはどういう内容かということです。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

49ページ、委託料のコミュニティバス運行委託料に関わってのご質問でございますが、まず、この額についてですけれども、上がった要素は人件費等の上げ幅を反映して単価が上がりまして、1日当たりの運行の委託料が1万7,000円だったのですが、今年度です、令和8年度は1万9,000円ということで2,000円の値上がりになった分、全体の事業費が上がったというところでございます。

それから、もう一つありました利用の人数のところでございますが、登録については徐々に毎年増えてございます。現在の利用状況、今年度の利用状況でございますが、平泉ルートが1便平均当たり3.2人、長島は2つございまして、南北ルートが1日平均2.9人、長島の東西ルートが1便当たり平均4.1人ということで、今年度途中から伸びました。今年度は、10月から無料乗車の体験デーというのをやっております、明らかにこの辺りから伸びております。一度乗られた方については、その後も引き続き乗られているという状況も見られますので、今後もこういった、1回乗ってみると意外と使いやすいな、あるいは使いづらいなというところも逆にあるかもしれませんが、そういったご意見等も伺いながらさらに利用しやすいように見直していきたいというふうに思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

先ほど大友委員が聞いた52ページの後づけ急発進抑制装置補助金ですけれども、令和6年度決算では3件あったと。その前は1件となって、2件増えたわけですが、令和7年度はどういうふうになっているか、このことだけ伺いたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

後づけ急発進の令和7年度の実績でございますが、今のところ2件というところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

53ページ、54ページの9目情報化推進整備費関係でして、例えば、11節役務費のガバメントクラウドサービス利用料、これも若干増えていたり、それから、12節に機器等保守点検委託料もありますが、次のページ行くと、ガバメントクラウド運用管理補助業務委託料、これ前なかったような気が、新規なのか268万円ほどとか。それから、情報セキュリティポリシー改定業務委託料280万円とか、つまり、ここら辺ずっと並んでいて、このいわゆるDX化、デジタルだかいろんなこともあると思うのですが、この辺の推移というのは、この間どのぐらい増えているのでしょうか、伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

この情報化推進整備費につきましては、先ほど私がご説明申し上げました補助金に関連する戸籍附票システム関係の経費の歳出部分もこちらにございまして、その部分が今、委員がお話のありましたガバメントクラウドサービス利用料200万7,000円、そして、標準化回線利用料64万1,000円、そして、54ページのガバメントクラウド運用管理補助業務委託料268万1,000円、これが先ほどの歳入の600万円あまりの補助金に関連する部分でございます。

それ以外の部分については、情報化推進整備費のほうでの予算となっております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

いわゆるこの部分というのは、出るのだろうと思うのです。私なりにちょっと疑問もあったりもするわけです。仕事は削減されてという側面もあると思うのですが、この辺の経費というのはどんどん増えていくのではないかなということで、それで、この間の推移なり、将来の負担というのはどういうふうに考えているのかということをお聞きしたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

いろんな情報システム、先ほど来ご説明申し上げております自治体情報システムの移行、全国的にデジタル化を進めて行く中での対応といたしますのは、委員がおっしゃられるとおりそのランニングコストにおきましても、現在、取り組む前の令和５年度と比較しますと1,000万円以上増えるというような見込みでございます。

これらの対応につきましては、国の方針としましては、一時的に増える分、つまりは現在、現行のシステム運営経費等、それから、新たに標準化、共通化を行うことによって生じるランニングコスト、これが併存していくといいますか引き継いでいくという部分で、一時的に経費が負担が増えるといったことについて、国のほうでは把握、そのような想定の下で、それに対応する補助金を予定しているということでございますし、あとは、根本的にはデジタル化に向けた対応については、それぞれの市町村の取り組み状況に応じまして交付税措置されるというようなところもございますので、まずは、国の方針に基づくシステム切替えとかそういう標準化についての対応は、遅滞なく円滑に行う必要があるというふうに考えますし、それこそ二重経費になっている部分といったものの見直し、これにつきましても、しっかりと国への補助金を頂くに当たっては、取り組みの対応の方針をしっかりと具体的に示す必要がありますので、その辺のことについても、それぞれの各課関係しますので、庁内を挙げてチェックを行いながら対応をしていく必要があるというふうに考えております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

８番、高橋伸二委員。

８ 番（高橋伸二君）

どの項目で質問すればいいのか、予算化されていないからあれなのですが、53ページの９目に情報化推進整備費というのがあるわけですがけれども、本町のホームページの閲覧に対して、町内外の利用者からの苦情といいますか評判といいますか、これは役場に届いているのでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

ホームページリニューアルをいたして間もないわけですが、今のところ苦情というのは、私の把握の中ではございません。

予算特別委員長（氷室裕史君）

高橋伸二委員。

８ 番（高橋伸二君）

リニューアル以降、非常に使いづらいと。どこかのサイトにアクセスしようとしても、そのサイトが開くまでの時間が異常にかかり過ぎる。そういう状態なのです。それと、ＡＩの検索もついていますけれども、このＡＩ機能がほとんど機能していない。通信できませんとか、検索結果ありませんとか、そういう状況が私が使っていてあるのですけれども、庁舎内部の中では、そのような職員などからの意見というのはないのですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

私もホームページを常にかいたりしていますが、時間がかかるといった経験はございません。ただ、AIロボットについては、私も感じておりまして、2パターンに分かれまして、そもそもホームページに情報がないものについては、答えが曖昧になったり、別な答えをするというふうなことであったりというのがありましたし、あとは、全く別の答えを出すというところがございました。これについては、先月、私も把握できましたので、今は改善されていると思いますので、ぜひお試しをいただきたいなと思います。

原因は、委託先の中でも言った時点で把握されておりまして、改善は施したところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

高橋伸二委員。

8 番（高橋伸二君）

私は、その方面の知識が疎いものですからあれですが、サーバーに対する負荷が異常にかかっているためにサイトが開きづらいのではないかと、今、皆さんタブレットをお持ちですから、平泉町のホームページを開いて、例えば規定とか規則とかというところで検索してみてください。しばらく時間がかかると思います。ぜひ、その現状について把握をされて、改善に向けて取り組んでいただきたいというふうに思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

ありがとうございました。そういったところは、非常に住民サービスという点からしても大事な点でございますので、確認し業者とも連携を取って対応してまいりたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

11番、升沢博子委員。

11 番（升沢博子君）

48ページ、6目企画費7節報償費の未来づくり会議委員謝金ということで、未来づくり会議につきましましては、総合計画の基となるご意見をいただいてと聞いていますし、総合計画のこれからのところでも生かしていきたいというような記入もございますので、昨年より人数が減ってこの金額になったのか、そこのところを内容をお知らせください。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

48ページの7節、報償費の未来づくり会議謝金14万円に関わってでございますが、令和7年度に設置をいたしまして、今年度に限っては総合計画の策定に関わる町民ワークショップの中に入

っていただいたというところでございますので、実質未来づくり会議として始動するのはこれからということになります。

この会議の目的ですが、平泉町の各施策に対して若い視点から意見を述べるだけではなくて、自らがまちづくりに関わっていける方法であったりとかを主体的に考えていきたいと思いますというふうな内容でございます。

ですので、令和7年度の活動については、まだそこまで至っておりませんので、今後本格的にということは先ほど申し上げたとおりですが、人数について減らしたわけではなくて、人数は同じでございます。12名ということで、引き続きその12名で3回だったと思いますが、予定をしているというところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

過去にも若者会議という形で意見を聞くという形で何か終わっているようなところもあるやに思いますので、特に、まず、未来に向けての行動といいますかそういったところで非常に期待をしていくべき未来会議だと思いますので、その辺はぜひ進めていただきたいなというふうに思っています。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

すみません、先ほど私、3回と申しましたが、12人の4回でございました。大変失礼をいたしました。

今、ご指摘いただきましたとおりその意見をいただいて終わるということではなくて、今回の総合計画町民ワークショップの中でも、特に印象深く残っているのは、やっぱり平泉はお祭りが非常に盛んで、なのだけれども、我々も関わりたい、関わり方が分からないというふうなのが非常に多く出ました。

一方では、お祭りをされている方からすると、なかなか若い人が来ないというふうなお話も聞きますので、この辺をやっぱりしっかりつなげていく、そして、若者が自らまちおこしに関わっていくという状況をやっぱりつくっていくために、若い未来づくりの会議の方々が実際携わってみるとか、そういったところを、こっち主導ではなくて、役所主導ではなくて、皆さんからどういった関わりができるかというのを今後進めて行くことにしてございますので、ぜひそこはそういう方向に持って行きたいなと思っております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

同じ節の中の、ふるさと住民温泉優待券という、昨年と同じようについておりますけれども、昨年の実績がまだ年度途中なのだと思いますけれども、実績がどうだったのかお聞きします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

ふるさと住民の温泉優待券です。令和7年度実績でございます。

すみません、ちょっと今、手元にございませぬ、実際に活用されたかどうかも含めて確認をさせていただきますまして、後刻でよろしいでしょうか。後刻の答弁とさせていただきますたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

もう一点でございます。

55ページ、11目地域活力推進費の14節工事請負費ということで、例年どおり500万円、補修等工事費ということで計上されておりますけれども、これはそれぞれ令和7年度の各地域の地域課題が出た中で、これから選定をして、緊急性とかそういったところで選定をしていくのだと思うのですけれども、今の時点で想定されているのはあるのかどうなのか、お聞きします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

今のご質問につきましては、当初予算で地域活力推進費として計上しまして、実際の事業が決まった時点で予算を組み替えさせて実施しているというのがこれまでの流れとなっておりますが、今の時点で全21行政区から要望といいますのは、令和7年度時点で新規37件、継続73件、合計110件を受け付けており、今年度はそのうち10件を解決すべく今、年度末に向けて、また工事も進めているといった状況でございます。

それで、一つは、各地区の優先順位の高いものからということもございませぬが、予算に応じる中で、優先順位が多少入れ替わる場合もございませぬし、それから、各地区満遍なくいろいろ全行政区にある課題を少しずつ行ってきたりしまして、この中で対応しておりますけれども、これやはり区長会の中で、区長の皆様に取りまとめさせていただいております。したがって、この状況については、区長会の中でも逐次報告させていただいております状況を、それで、なぜまだ未実施なのか、どうやって対応していくのか、現在の対応状況についてもしっかりと報告させていただいております、次年度の事業につきましても、これからまた新たにこれまで今回の10事業が完了したことも踏まえまして、各行政区内で十分ご議論いただいて、必要な事業をまた提出いただいた中で、こちらで優先順位、緊急度を検討させていただくというようなことを考えてございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢委員、よろしいでしょうか。

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午後 0時00分

再開 午後 1時00分

予算特別委員長（氷室裕史君）

それでは、再開いたします。

先ほどの三枚山委員の質疑に対し、岩渕総務課長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

先ほど三枚山委員から、情報システムの関連経費のご質問に関しまして、私財源の答弁を申し上げましたけれども、ページ数でいきますと53ページの9目情報化推進整備費のガバメントクラウドサービス利用料200万7,000円ほかの経費について、歳入の雑入のデジタル基盤改革支援補助金が、これが充当されているというご説明を申し上げましたけれども、このデジタル改革支援補助金につきましては、戸籍住民基本台帳費に業務委託料として、全額歳出の予算が計上されておりまして、こちらの情報化推進整備事業に関するこちらのシステム業務委託料につきましては、地方交付税で措置されるというような財源となっておりました。

おわびして訂正いたします。申し訳ございませんでした。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山委員、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

次に、先ほどの升沢委員からの質問に対し、まちづくり推進課長からの発言の申し出がありましたので、これを許可します。

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

午前中、升沢委員のほうから、48ページの6目企画費の7節報償費の中のふるさと住民温泉優待券の活用状況ということでしたけれども、現在、登録会員は42名おりまして、10月から温泉優待を始めましたので、10月に送付をしております。42人全員に発送しております。発送の段階では料金はかかりませんので、実際にその方が町民温泉に行かれた際に支出が発生するということですが、10月に順次発送しまして、使用されたのはまだゼロ枚ということです。閑散期、遠方の方がほとんどですので、閑散期ということもございますから、今後ゴールデンウィーク等で活用されるのかなというふうに期待はしているところです。

以上です。

予算特別委員長（氷室裕史君）

次に、先ほどの三枚山委員からの質疑に対し、伊藤町民福祉課長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

午前中の質疑の中で、三枚山委員のほうからの後付け急発進装置の令和7年度の実績の件数の問合せありまして、私2件と申し上げましたが、1件でございましたので、訂正させていただきます。よろしくお願いいたします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

それでは、午前に引き続き41ページから55ページの2款総務費のうち、1項総務管理費についてご発言願います。

佐藤孝悟委員。

9 番（佐藤孝悟君）

46ページの3目27節繰出金66万4,000円、土地開発基金繰出金、これについて説明をお願いいたします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

こちらにつきましては、一関地区土地開発基金、両市町で……

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

大変失礼いたしました。

平泉町の土地開発基金、基金条例で定められております土地開発基金の利子を繰り出すというような内容のものでございますので、恒常的に繰り出している、そういった予算課目となっております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐藤孝悟委員。

9 番（佐藤孝悟君）

これに関しては、結局、一関地区開発公社をやっていたものが、令和5年ですか、解散になった。ただ、1つだけ一関地区の開発公社は残っておりますが、この残っておることが、今回も4,000円ほど事務費みたいな格好で出ております。結局同じものを新たにこのようにやっているわけですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

この土地開発基金につきましては、土地を購入する際の目的基金として設置しておりますので、一関土地開発公社との関係というものとは、また別な扱いといいますか、あくまでも平泉町が何らかで公共事業で広大な土地を取得するに当たって積み立てている基金でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐藤孝悟委員。

9 番（佐藤孝悟君）

不思議であるわけなのですが、一関地区の土地開発公社は解散はしないわけですか。この点をお伺いします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

一関地区土地開発公社につきましては、青木町長が理事となっておりまして、それで一関市と平泉町で設立したものでございますので、両市町の関係性というようなことで、こちらで一方的に解散するといったような申し出もございませんし、これまでも特に解散といったようなことの動きはまだないというふうに認識してございます。

ただ、今後またそういうようなことがあるとすれば、両方で協議の上決定していく事項であろうというふうに考えております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐藤孝悟委員。

9 番（佐藤孝悟君）

要するに、そちらのほうで、まず一関地区は残っていますけれども、ほかのところはみんな解散しているということですので、新たにこの土地開発基金というものを設定して、これからの土地の購入は始まるということですね。そのような理解でよろしいでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

それぞれ目的があってそういう基金であるとかを設置しておりますので、町のこの土地開発基金でございますし、あとは岩手県といったようなところもございますが、いずれ今のそれぞれの目的に応じた形で、それぞれの基金等設置されておりますので、そういうことでご理解いただければというふうに思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにありませんか。

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

49ページの2款1項6目企画費の12節の旅行手配業務委託料の件について質問いたしたいと思っております。

旅行日程につきましては、3泊4日ということでお話はいただきましたが、訪問後の天台県との今後の交流については、どういうお考えをされているかお伺いします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

49ページ、委託料の中の旅行手配、天台县に関わる旅行手配の件に関わってでございますが、今後の天台县との交流ということですが、昨年、天台县の政府の方が当町を訪れまして、コロナ禍で途絶えていた交流をまた昔のように活発化させたいということで、双方、町長とあちらの代表と懇談をしたところでございます。

その中で、令和8年度に中国にお越しいただきたいということであつたりとか、あとは平成10年からこの協定を結ぶ前のいきさつを申し上げますと、町議会議員の方18名が天台县を訪問された、これが交流のきっかけでございますが、様々交流を積み重ねて、実は平泉町と姉妹提携学校というのがあつたりとかして、一時期、小学校、中学校間での姉妹校での書の交換とかもしております。昨年来たときにそういったお話も先方から出まして、また小中学校の交流を復活させたり、あとは、まずはお互いの自治体の状況をお互いに情報交換するという意味で、例えばパンフレットをお互いの庁舎に置くとか、まずそういったところからスタートしようということになっています。

私も振り返ってみたのですが、平成10年以降、本当に毎年のように行き来をしていたという経過がございまして、今はそれが少し途絶えているところもございまして、提携15周年ということもありますので、今後はそういったところをまず復活を目指していくということで、小中学校の交流も再開を目指していきたいなというふうに思っています。

これまで、当町からは6回訪中しておりますし、このうち5回、議会の皆さんにも同行いただいておりますが、先方からの来町が10回に上っております。そういった意味で、令和8年度においても相互の行き来をするということで、まずはコロナ禍からの復活を目指して、その後の交流は小中学生の交流も含めて進めてまいりたいと思っております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

交流の復活に向けての今後の在り方というのは理解いたしましたが、ただ、今の台湾有事で中国から日本への渡航規制がかかっている状況の中で、あえて訪問するというのは、やっぱりかなりのリスクがあると思いますが、その辺について見解をお伺いしたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

その点については、一つの懸念材料かなとは思っております。ただ、現段階で天台县の担当とこちらの担当とのやり取りは継続しておりまして、具体的日時調整等も、今、図っているところですが、ただ、現状のこの状況が続けば、確かに厳しい面もあるかと思うので、その訪問時期にどういった状況になっているのかも含めて、その時期に検討するということになりますが、現状において、外務省も県にも確認をいたしましたが、特に渡航を控えるようにということもご

ざいませんし、許可制でもございませんで、こちらのほうで先方との協議が整えばそれは実行できるものかというふうに考えております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

最後にもう一点ですけれども、同じ委託料の中で、地域おこし協力隊業務委託料4,950万円計上しておりますが、新たに3名の方の協力隊の方を募集しておると聞いておりますが、協力隊の3名の業務内容がもし分かれば、お知らせ願いたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

49ページの委託料の中の地域おこし協力隊業務委託料4,950万円、内訳については、550万円の9名ということですが、3名が今年度退任いたしますので、引き続きの隊員が6名と、それから新規が3名ということです。

お伺いの新規の3名の募集ですが、昨日の一般質問でも出ておりましたが、「稼ぐ農業」売上げ二千万円目指そうプロジェクト、こちらを募集しております。こちらには2名の応募がありましたので、今、選考を進めているというところでございます。

それから、新しく今年度から業務委託型ではなくて、民間企業の雇用型というものを募集しております。1つは、世界遺産・平泉の観光事業活性化プロジェクトということで、これは平泉観光協会に雇用をしていただいた方を地域おこし協力隊に委嘱をするということで募集をしてございますが、こちらのついては、現状応募がないという状況です。

それから、もう一つが、同じく民間企業の雇用型でございますが、プロジェクトは中尊寺通りの活性化を目指すプロジェクトということで、空き店舗等の活用を目指して、あの通りを活性化させようというプロジェクトですが、今、隊員であります河野綾華隊員の起こした会社でございしますが、株式会社あがらいという会社になりますが、ここに雇用される方を地域おこし協力隊として委嘱をするという内容でございしますが、これもまだ応募がございませんで、現状は応募期間を延長しているというところでございます。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございせんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

なければ、進行いたします。

次に、55ページから65ページの2款総務費のうち、2項徴税費、3項戸籍住民基本台帳費、4項選挙費、5項統計調査費、6項監査委員費についてご発言願います。

ありませんか。

5 番、阿部圭二委員。

5 番（阿部圭二君）

57ページ、2 目賦課徴収費の中の12節委託料なのですけれども、標準宅地価格評価業務委託料なのですけれども、昨年の半分ぐらいになっているのですが、金額結構こんなに変わるものなのかということを聞きたいなと思っておりました。

予算特別委員長（氷室裕史君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

57ページ、標準宅地価格評価業務委託料についてのご質問でございます。

こちらにつきましては、令和9年度の評価替えに向けて3年目の作業というふうになりまして、毎年度委託内容が異なっております。令和8年度につきましては、基準宅地評価業務ということと、土地評価高圧線下抽出というような内容で予算を計上しておるところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにありませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、66ページから78ページの3 款民生費についてご発言願います。

7 番、真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

70ページの3 目老人福祉費についてお伺いしますが、7 節の報償費の敬老会の報償物品ですが、今年度の対象者何名になるか教えてください。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

対象者数ですが、人数、後ほど報告とさせていただきたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

72ページの4 目12節の委託料であります、老人保護措置費委託料、これが対前年比大きく伸長しているわけですが、その事由についてお知らせください。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

72ページ、4 目老人保護措置費の12委託料についてですが、現在、養護老人ホームのほうに3 名が方入所されております。こちらの老人保護措置というところは、身体的な理由、それから精

神的理由、あと経済的な理由というところでやむを得ない措置というところでございます。本来であれば、介護保険の施設であるとかというところを選択肢にも入れるところですが、そうしたところが、入所が難しいというところ、様々なご本人の事情ですとか、ご家庭の事情によりというところで、今、前年より増えているというところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

7 番、真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

ちょっと戻って申し訳ありませんが、68ページの1目社会福祉総務費についてですが、18節負担金補助及び交付金の社会福祉協議会事務局長設置事業補助金、この事業名なのですが、この事業名ってもう変えてもいいのではないかと思われるのですが、このままでずっといく予定なのでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

68ページの社会福祉協議会の事務局長設置事業補助金の名称というところでございますけれども、事務局長の給与等の補助をしているというようなところがございますので、設置というところの表現というところは、今後見直しを図ってまいりたいと考えてございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

3 番、大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

68ページの19節扶助費の補装具給付費300万円なのですが、前回、前年度より70万円減となっているのはなぜかお聞きします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

68ページ、社会福祉総務費の19節扶助費というところで、補装具の給付費になりますが、こちら車椅子、それから補聴器といった障がい者の方の補装具の費用になりますが、実情に合わせてというところで、令和8年度につきましては、こういった金額となっております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

この中で、オストメイトの方に対する給付金のあると思うのですが、オストメイトの方への給付金は今までと同じなのか、それとも減額か、それとも上回ったのか、お知らせ願います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

68ページの19節扶助費で、ストーマのところですが、日常生活用具給付費というところになるのですが、こちらのほうの増減というところ、後刻とさせていただきたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

11番、升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

73ページ、3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費の7節報償費の出産祝金ということで、40万円ということなのですが、昨年5万円を20名を算定していた金額だったと思うのですが、今年は8名ということでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

出産祝金の関係でございますが、今年度40万円というふうなことなのですが、内容的に、昨年度まで5万円、内訳が現金2万円と商品券3万円というふうな内容でございました。今年度は現金2万円のみ20人という考え方です。

というのは、内容的にはそのような内容ですけれども、なぜこのようになったかという経過でございますが、まず妊婦のための支援給付金というのがございます。令和7年度から妊娠期に対して、妊婦に対して5万円、それから妊娠しているこどもの数に対してさらに5万円と、10万円給付。令和4年度から実施しておりました、前の出産子供応援給付金事業というのがございました。これも同じような内容で、前応援のほうにつきましては、実はまだ制度がされていなくて、毎年度国の予算が予算化されるかどうかということでしたが、今、やっている妊婦のための給付金につきましては、既に令和6年度から制度化になっているということで、これについては、これから毎年、最低でも10万円支給されるというふうなことがあって、他市町村のほうでも、このタイミング、その前のタイミングで様々なお祝い金などをこちらに移行していたという経過がございました。

当町につきましては、できるだけお祝いだということで続けてまいりましたが、財源の調整などしながら、このみだけではなくて、ほかの部分も含めながら検討していかなければいけないのではないかとというふうな部分で減額させていただいた部分と、さらには、児童手当も令和6年10月から第3子以降は全て1万5,000円、それから高校生まで給付されている、そういった国の施策なども踏まえながら、今年度このような予算計上とさせていただいたところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

もちろん、子育ての応援資金という形で目立つところだと思いますので、それがちょっと減額という、若い人たちに、その辺はご理解いただくようなお知らせといいますか、そういうふう

な形にして、ぜひもらいたいと思います。

もう一つですが、同じく、12節の中の子育て世帯訪問支援事業委託料が、前年度よりも半分ぐらいに減額になっております。社会福祉協議会に委託というような事業だったやに思うのですが、そのことについて、内容をお伺いします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

子育て世帯訪問支援事業の委託料の減額の件でございますが、実はこの事業を実施してまいりまして、昨年度の実績、今年度の実績もそうですが、ゼロ件という扱いです。この事業につきましては、この事業についてちょっと補足説明させていただきますが、家庭でいわゆる要支援、要保護を必要とする家庭に対して、家事含め、それから傾聴というふうな部分で、国が新たに制度化した事業でございます。この事業は、必ずしも利用しなければいけないというものではなくて、逆に利用がないほうが家庭が安定しているという部分がございます。

様々な部分で支援をしなければいけない家庭がないわけではないのですが、そういったところに、各方面から事業を通して支援をするということでございましたが、やはり家庭の理解もないと、家に入ってきて家事とか見守りとかというのは、なかなかやはり抵抗があるというふうなことも一つの理由として実績がなかったところではございますが、今回は3人の人数を想定して予算を計上させていただきました。去年より、去年たしか5名ぐらいだったと思うのですが、そういうふうなところで、減額した、終わりということではなくて、実績があれば、このような事業が必要であれば、補正とかを通して事業の充実を図ってまいりたいというふうに考えております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

この事業が始まるときに、実際に利用がどれぐらいだろうかみたいな、そういう危惧もあったと思います。確かに、同僚議員なんかも質問しているところで、町の中でそういった子育てに困っている人たちの相談機関とか、そういうことももうちょっと平泉は増やすべきではないかというふうなあれも出ておりますので、そこは何かの形でといいますか、変わるものを考えていく必要があるのではないかと思いますので、今後も目を向けていただければと思います。

以上です。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

事業全般として、子育て支援という部分からすると、やはり様々な事業を展開しているところでございます。

一般質問にもございましたが、保育所の部分については、やはり今後、保育ソーシャルワーカーとか、そういったいわゆるこどもたちがそういった拠点として、いろいろな相談が保護者、こ

どもとも見守れる、相談できる部分として、様々な部分での制度化支援というのをつくってきてまいりましたが、これもその一つであり、特にも先ほどお話ししたとおり、使用するのが必ずいいかどうかではなくて、様々なメニューを使えるような、保護者の方が選べて使えるような、そういう制度の充実を図ってまいりたいと思っております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

3 番、大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

70ページの3目11節の役務費に、緊急通報システム設置手数料ってあるのですけれども、17節にも緊急通報システム購入費がありますが、どのような方が対象となるのか、お願いします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

70ページ、11節役務費の緊急通報システム設置に関するところですが、こちらは一人暮らしの方、高齢者のみ世帯の方、それから重度身体障がい者の方等の緊急通報、体調がご自宅で悪くなったなどのときにボタンを押すと、あらかじめ利用者の情報を消防のほうに登録しておりますので、緊急事態に通報ボタンを押すことで、早期に緊急援助活動ができるというところのサービスになっております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

この件で、まだまだちょっと周知が足りないかなと思うところがありまして、実際に1件あったのですけれども、その件は後で相談したいと思います。

次に、72ページの18節負担金補助及び交付金の交通弱者乗車券交付事業補助金60万円なのですが、これも対象者と、どのような形で交付するのか伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

72ページ、18負担金補助及び交付金の交通弱者乗車券の対象者というところでございますが、65歳以上の方で介護保険の要介護、または要支援の認定の方、それから重度障がい者の方、それから精神手帳1級の方ということで、いずれも町民税非課税世帯の方が対象となっております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

支給方法ということでございますが、支給方法につきましては、保健センターのほうの窓口で申請書を記入していただくというところになります。申請していただいて該当になるというこ

とになれば、1月当たり2,000円ということで、タクシー利用券のほうが発行されます。例えば4月に申請していただければ1年分ということで、12か月分というふうな形で利用券を発行することになっております。

ほかにございませんか。

阿部圭二委員。

5 番（阿部圭二君）

77ページの4目12節委託料の中の児童クラブ管理運営委託料2,385万円なのですが、前年よりも45万円ほど安くなっているのですが、そんなに金額下がったりするのかなと思ってお聞きします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

金額が若干前年度より下がっているのはなぜかというご質問かと思うのですが、まずは年間の日数含めて、いわゆる委託料の賃金部分のところも精査させていただきました。1年通して支援員の数、いわゆるすぎのこクラブの人数は、現状6名から7名のところで、確定したのは6名なのですが、そういった部分、それからたばしねのほうにつきましても5名というふうなことから、それから、そのうちパートの人数もいますので、そういった勤務体制を改めてちょっと細かく調整をさせていただいて、賃金のほうが若干低くなった部分と、それから補助金の委託用の部分でちょっと大きかったのが、年度末の調整の中で、いわゆる留保分、本来補助金なのであるのですが、4月以降、こちらのほうの委託が入るまでに使わなければいけないような部分の留保部分が若干予算があったので、そこら辺と相殺をさせていただきまして、今回は若干金額を下げさせていただいたというところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございますか。

真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

73ページの1目児童福祉総務費の7節報償費なのですが、出産祝金に触れなければやっぱりいけないということがありまして、今年度の予算が40万円という8人分、去年がたしか100万円ですから、半減以下になってきているという本当に壊滅的な危機的な状況がの中で分かるわけですが、このものに、この祝い金に対して、しつこく現金化すべきだというお話をずっとしてまいったわけですが、やっぱりこれはもう何らか、もう少しこの制度を発展させる、もしくは誰のために祝い金があるのかということに、やっぱり考えていかなくちゃいけない部分があるのではないか。

昨日、小島地区の若夫婦を持つ親から言われました。全然役に立たないよ、ミルク代にもならない、おむつ代にもならない。やっぱりこういった声を本当に拾うべきではないかと私は思うのですが、これについてどうですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

先ほど升沢委員からもこの件についてご質問をいただきました。それで、前年度まではお1人5万円というふうな金額でお祝い金を出させていただきましたが、先ほど申し上げましたが、1つは国の制度の中で、妊娠、それから出産に対して合わせて10万円の給付になっていると。これが令和6年度から制度化になって、今後もこの給付については続くというふうなことがございました。それから、さらに児童手当の拡充もされております。第3子以降の金額が1万5,000円から3万円になっていると、高校生まで拡充されていると。そういった様々な部分の給付、子育て支援、国がある程度、ここら辺を主導的にやってきているという部分もございますし、当町においても、この国の事業が始まった以降も、他の市町村ではそれに移行している部分がございますが、ここ数年、当町はその予算を維持しながら給付してまいりました。

これをただ下げたということではなくて、限りある財政の中で、財源の中で、このほかの部分、生まれたときだけではなくて、将来にわたって、例えば中学生、高校生になったとき、何かそういった給付できるようなことがないかということも十分併せて検討させていただいたところでございます。トータル的に子育て支援の中で、給付というものも含めながら、どのような方向がいかということを検討してまいりましたが、なかなか今回その分については予算化できなかったところもございます。

おっしゃるとおり、ここだけの部分を見れば、すごく改悪というか、給付が下がったのはどうかというご質問に対しては、そのようなきちんとした答弁にはならないかもしれませんが、トータル的に子育て支援をどうしていくかということも視野に入れながら、さらにお祝い金を全くやめるということではなくて、これはやっぱり金額的には下がりましたが、継続して行ってまいりたいという意向は持っているところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、79ページから85ページの4款衛生費についてご発言願います。

11番、升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

85ページです。

4款衛生費の18節負担金補助及び交付金の中に、今回、一関広域行政組合への負担金ということで3億982万円という金額が計上されております。財政計画の中でも示されておりますように、たしか今年度、令和8年から令和12年までの間に、そういうトータルの金額を負担するのだということでこの金額になっていると思いますが、去年はトータルで11億何がしという金額から、今

回はそれにまた2億加わっているという形で増額があります。そして、2億6,000万円の地方債という形で、その地方債の計画も示されているところではありますが、焼却炉あるいは処分場の関係で、まだまだ不透明なところもあるやに聞いております。この形で推移するのか、その辺はというふうにお考えか伺いたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

予算書85ページ、18節の負担金補助及び交付金の中の一関地区広域行政組合の特に負担金の部分でございます。本年度は3億982万1,000円ということで予算計上させていただいておりまして、あと、今、委員お話のとおり、町の財政計画の中で令和8年度から令和12年度までの間、一般処理、それから最終処分の部分での建設費負担金としては13億円余り、それから起債に関しましては10億円余りの計画を立てているというような状況でございます。

その中で、一般廃棄物とリサイクル施設につきましては、12月に業者が決まりまして、それで建設費に関しましては233億円ということで、当初265億円というところで組んでいた予算から、入札減があるような状況でございまして、そういった部分に関しましては、今後組合の中でまた継続費の予算を組んでございますけれども、組合のほうの予算も減額されるというような見通しもございますので、それに乗じまして一関市、平泉町の負担金に関しても再度計算されるというようなところで、このあたりは少し軽減される見通しはあるのかなというふうに思っております。

それから、あもう一点が、最終処分場で千厩のほうに計画されているものでございますけれども、それに関しましては、令和8年度から進められるということで、3月これから組合のほうの予算でも議決をいただくような状況でございますので、そちらのほうに関しましては、また、これから入札等はございますので、そういったところの経費も推移を見ながら、なるべくそういった部分、町の負担、起債を借りますけれども、負担の軽減なるような形で進めてまいりたいと思いますし、いずれ広域行政組合と連携を図って、そういった負担の部分に関しましては引き続き注視してまいりたいと思います。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

町財政の中で、今回衛生費の部分がかなり増額になっておると。そして、予算全体に占める割合、それを当局も本当に調整しながら削るところは削る、無駄を省きながら、やはりここはかけなければいけないというところで予算立てをしたところだとは思いますが。

ただ、限られた財源の中で、やはり暮らしに関わることでありますから非常に苦渋の形の計上だとは思いますが、やはり議会として、そういうちょっと不透明なところ、そこの大きくは令和11年までの増額が大きいようでございますので、その辺をやはり慎重に考えていただければと思

いますが、そこについて。

それから……

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員、1つずつお願いします。

11番（升沢博子君）

この件について、お考えを伺いたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

伊藤町民福祉課長。

町民福祉課長（伊藤正幸君）

いずれにしても、負担金といたしましては、本当に毎年3億円というような形での支出になるところでございますので、引き続きそういった部分の負担金に関しましては、一関市、あとは広域行政組合と協議を進めながら、負担金が軽減になるような形での方策、そういった視点を見ながら進めてまいりたいと考えてございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、85ページの5款労働費についてご発言願います。

ありませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、86ページから93ページの6款農林水産業費についてご発言願います。

10番、千葉勝男委員。

10番（千葉勝男君）

89ページ、3目18節、新規就農者育成総合対策事業補助金の事業内容についてお知らせください。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

89ページ、18節負担金補助及び交付金の中の新規就農者育成総合支援対策事業の事業内容でございますけれども、新規就農された方につきまして、月額12万5,000円を経営開始準備期間ということで給付をする事業でございます。

認定から2年間の支給というふうになっております。

予算上は300万円ということですが、お1人年間150万円ということです。現在、1人の方が対象になっておりますし、新規で令和8年度中に来るのではないかなというような相談を受けておりますので、取りあえず2名分の予算措置というふうになっております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉勝男委員。

10番（千葉勝男君）

そうすると、これは今のところ2名だと。例えば5人来ても6人来ても対応するのですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

こちらの事業は、全て国の補助事業、100%補助になっております。そういう相談来た場合に、県を通して国のほうに相談しまして、予算が確保されれば、そこからスタートというふうになります。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉勝男委員。

10番（千葉勝男君）

その下の有害獣侵入防止対策の関係ですが、これは電気柵のことでしょうか。

これまで町内全域にわたって相当の面積が電気柵が張られてきましたが、今回この予算に上げました80万円については、どの地域を指すのですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

こちらの有害獣侵入防止柵ですけれども、こちら町民のほうから申請が上がってきたものに対しての電気柵の設置補助金ということでございますので、どの地域といった設定はございません。いずれ町民の方から申請をいただいたら、その部分に対しての支援ということになります。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉勝男委員。

勝男委員、もう少しマイクに口を近づけてお願いいたします。

10番（千葉勝男君）

すみません。

今、るる説明をいただきましたが、いずれ、実は私どもの大平地内で、過去に電気柵を張った以外の場所が非常にイノシシに被害を被っていました。そのうちに申請が来るとは思いますが、いずれ、これはまだ決まったものではないということであれば、申請すれば可能ということですね。はい、了解しました。

その次に、その下、狩猟免許取得補助金の関係ですが、これは何名分なのでしょう。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

狩猟免許取得補助金でございますけれども、まず新規取得ということで、自由購入まで含めまして、20万6,000円掛ける3人分というような予算措置でございますし、それから、更新される方につきましては、2,900円掛ける9件分というような内容でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉勝男委員。

10番（千葉勝男君）

それから、もう一つお聞きしたいのは、いわゆる免許を取得するための申請する年月日、免許試験を受験するための申請年月日、それから試験日、お分かりでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

令和8年度の試験年月日というところでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉勝男委員。

10番（千葉勝男君）

例えば、今年免許を取得したいという人がいます。そのときに、試験いつだべって聞かれていますが、まだその内容分かりませんので答えておりませんが、それでいつだろうなということで質問しました。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

すみません、まだ今年度の試験日程については連絡いただいておりますので、いずれ試験日程が分かりましたら、毎年広報のほうで周知をしております。何月何日、場所はどこでというような、そういった周知方法をしたいというふうに思っております。

（「終わります」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

3番、大友仁子委員。

3番（大友仁子君）

同じく、89ページの12節委託料の集落支援員業務委託料、これ新規事業なのですが、この詳細についてお聞きします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

89ページの集落支援員業務委託料でございますけれども、こちら集落支援業務といいますのは、平成20年度から総務省が始めた制度でありまして、集落の維持や活性化を目的に、地域住民とともに集落の課題解決に向けて取り組むというような制度でございます。

こちら支援につきましては、500万円の特別交付税措置があるというような部分でございます。具体的な内容としましては、様々なメニューあるのですけれども、その中で、特産品を生かした地域おこしというようなメニューに該当しまして、具体的には、今、町で進めておりますヤーコンの普及拡大、平泉ワイン、どぶろく、あと戸河内と長島で行っておりますみそ研究会、そちらのほうで様々な商品開発をしているというようなところでございます。そちらの課題を、例えば販路拡大ですとか、そういった支援業務をしていただくというようなことを想定しております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

6 番、三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

89ページ、18節負担金補助及び交付金の地域特産品販売促進支援事業費、2倍に、20万円ですけれども、なりましたけれども、この取り組み状況というのはどうなっているか伺いたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

地域特産品販売促進支援事業補助金でございますけれども、こちら町内で生産された農産物による加工品などの販促品、例えばチラシですとか、化粧箱ですとか、そういったものに対する支援というような部分でございます。

現在のところ、黄金メロンの研究会、そちらのほうでパンフレット、チラシを作成したというようなところで支援をしているところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

この件で、ちょっと私もよくあれなのですけれども、令和6年度、何か決算なかったような気がするのですが、これは最近始まった事業なのですか、伺いますが。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

大分前から行っている事業でありまして、いずれ申請があれば給付はしますけれども、申請がなければゼロということもあります。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

続いて、90ページです。

4 目畜産費の18節負担金補助及び交付金の繁殖牛生産振興対策事業補助金ですけれども、前年度100万円で今年度は半分に減ったと。令和6年度の実績が45万円となっていますが、この今の状況というのですか、なかなか畜産も大変な状況だと思うのですが、その辺をちょっとお知らせください。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

90ページの繁殖牛生産振興対策事業補助金でございますけれども、こちら前年度の半額というようなところでございますけれども、実績に伴った減額というふうになっております。繁殖農家も以前は30軒ほどありましたけれども、現在25軒というふうにどんどん減ってきているような状況でございます、いずれ実績に基づいた予算措置というふうになっております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

次のページ、91ページですけれども、小規模基盤整備の件です。18節負担金補助及び交付金の小規模基盤整備事業補助金の25万円についてです。

この間、なかなかないと。いろいろ農地のどう利用するかというかもずっと会議も開かれてきましたが、この辺では必要なのだと思うのですが、そういった需要がなければ決済はないということになるのですけれども、そういった点での小規模でも農地を整備していくという、この農家の要求というのは実際どうなっているか、ちょっと伺いたいと思いますが。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

91ページの小規模基盤整備事業補助金ですけれども、こちら毎年座談会を開いておりまして、その中でも、使い勝手が悪いというようなご意見をいただいております。今年度といいますか、令和8年度から制度の見直しを行いまして、今までですと認定農業者であればお1人でもよろしいですし、そのほかの方であれば、3名以上の方の団体でというような条件をつけておりましたが、令和8年度以降は、認定農業者はもちろんですけれども、地域計画もつくられており、そちらの名簿に登載されている方、それから中山間地域交付金の組織に入られている方、多面的の組織に入られている方、そういう方であれば個人でもできるような見直しを行っております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

それでは、ここで暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時00分

予算特別委員長（氷室裕史君）

それでは、再開いたします。

先ほどの真簞委員及び大友委員からの質疑に対し、菅野保健センター所長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

先ほど後刻としておりました件ですが、70ページ、3目老人福祉費の7節報償費、敬老会報償物品の関係のあたりで、対象人数のことについて聞かれたところですが、こちらは、今年度、昭和21年4月1日以前にお生まれになった80歳以上の方ということで、1,016名が対象となっております。ちなみに参加者の方が220名ということでご出席をいただいたところです。

続いて、大友委員からの後刻としておりました件ですが、68ページ、1目社会福祉総務費の19節扶助費ですが、補装具の給付費の関係で、こちら70万円減となっているといったところの理由ですが、実際の給付の状況に応じてというふうにお話をしたところですが、具体的には姿勢保持装置を前年度の令和7年度は2件予算措置していたものを支給したということで1件ということで、令和8年度はその分で減になっているというところでございました。

それから、日常生活用具の給付の関係でストーマのところですが、ストーマの増減というところで、現在人数にすると15名の方にストーマ、日常生活用具として給付しているところでございますが、若干増えているというところでございます。

以上です。

予算特別委員長（氷室裕史君）

次に、先ほどの三枚山委員からの質問に対し、千葉教育次長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

午前中の三枚山委員の質問に対してお答えしたいと思います。

予算書の21ページ、4目教育使用料の5節学習交流施設の使用料現在の状況といったようなところでございます。

2月末現在の状況でございますが、件数的にいいますと、260件で収入が21万1,700円といったような状況でございます。こちらに関しましては、登録団体につきましては、使用料は発生しないというようなことでございますが、単発的に使われる団体につきまして使用料が発生するといったようなことで、こういった現状となっております。

また、午前中の答弁の中で、現在の今年度の利用状況につきまして、増加傾向というようなことで答弁したところではございますが、全体の利用人数等を見ますと、昨年度と同時期に比べると横ばいといったような状況となっておりますので、おわびして訂正いたします。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

それでは、引き続き86ページから93ページの6款農林水産業費についてご発言願います。

阿部圭二委員。

5 番（阿部圭二君）

88ページの3目12節委託料ですけれども、200万円の緩衝帯整備委託料、どういう形でやるのかお聞きしたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

88ページ、12節委託料の緩衝帯整備委託料でございますけれども、こちらにつきましては、地域の方々、それから鳥獣被害防止対策実施隊の方々と相談させていただきながら、どこに設置するかといったところは、今後検討していくところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

89ページの3目農業振興費12節委託費であります。先ほど大友委員が質問をしておりましたところの、集落支援員についてちょっとお尋ねをしておきたいと思うのですが、これについては、総務省がやっておる事業なわけですけれども、以前に副町長が総務課長の折に、一般質問で私がお尋ねをしたものであります。

その集落支援員の役割、総務省の求める役割というのは、その1つの旧小学校単位の地域に1人を置いて、その地域と行政の橋渡しをするのですよと。地域課題をその集落支援員の方が、その課題解決に向けたものを、地域と行政の間を取り持ちながら解決に向かってやっていくというのがその趣旨なわけです。それを先ほどの農林課長の答弁ですと、例えばヤーコンの販売促進をするのだと。そういうことでは趣旨が違うのだというふうに私は理解をするのですが、その制度の設計上、そういったことではない、地域おこし協力隊の延伸を図るものではないということを確認をしておきたいと思ひまして、再度お尋ねします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

集落支援員でございますけれども、委員おっしゃるとおり地域と、それから行政と、その間に入って課題解決をしていくというような趣旨でございますけれども、そのメニューの中にも様々ございまして、例えばデマンド交通システムなどの地域交通の確保ですとか、それから都市から地方への移住、交流の促進ですとか、高齢者見守りサービスの実施、伝統文化継承などなど、その地域それぞれの課題を見つけていただきまして、その課題解決に向けて、地域住民とそれか

ら行政と一緒にあって課題解決していくというような役割でございます。

そのほかにも、例えば新年度からまた地域おこし協力隊を募集しているわけでございますけれども、その地域おこし協力隊の支援も、その活動の中に含まれるということになっておりますので、そういった観点から、様々な活動方法はあるわけございまして、その中の一部の今回であれば、特産品を生かした地域おこしというようなメニューで活動していただきたいというふうに考えているところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

集落支援員の制度につきましては、設置要綱は当課のほうで設定をいたしまして、令和8年度は農林振興課でございますが、今後活用できる部署については活用していきたいなと思っています。

それで、旧町村単位というお話ですが、総務省のほうでも、どんどん運用が変わってきておりまして、全庁的に取り組むことは、これオーケーということと、あとは地域おこし協力隊が活動を継続する上で、制度をつながっていくというふうなところで、積極的に活用してほしいということで今年度説明会がございましたので、当町でもその方針にのっとって進めてまいる予定でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

その件については、まちづくり推進課長と総務教民常任委員会の中でも、そういった話もしたところでありましたので、了解はしております。

ただし、やはり地域課題について解消を図るというのが使命であることに変わりはありませんので、狭義のものに捉えられないように配慮していただきたいと、お願いします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

先ほど農産物の部分に限って言わせていただきましたけれども、様々な課題というのは、その地域ごとにいろいろあるかと思いますので、それらの情報を集めていただいて、それらもできる限り対応していくような形で進めていきたいというふうに考えております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにもございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、94ページから98ページの7款商工費についてご発言願います。

3 番、大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

95ページの2目18節負担金補助及び交付金の中の空き店舗対策事業補助金ではありますが、330万円ほど昨年度より増額になっております。具体的な取り組み内容について伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

95ページの商工業振興費、18節でありますけれども、その中の空き店舗対策事業補助金が増額となっております。中身につきまして、これが昨年までは、空き店舗対策ということで、空き店舗に入った方の家賃補助だけでありました。上限1万円で12か月ということで補助していたものに加えまして、今回空き店舗の改修費ということで、4月から施工したいということで、今、進めているところでございます。

それで、リフォーム代の上限が300万円ということで、今、1件計上しておりますので、今回の予算として363万6,000円となっております。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

同じ節の地域企業経営継続支援事業補助金2,000万円、これの詳細について伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

同じく18節の地域企業経営継続支援事業補助金の2,000万円でございますが、これにつきまして、町内の中小企業でありますけれども、町内の工場設備などを増設する際、その経費の一部を補助しているものでございます。

今回対象の事業者が長島製作所でございます。これは既に認定のほうはしております。手続きのほうはしておりますけれども、予算が確定後、申請をしていただいて、交付申請をいただいて補助金を交付するものでございますけれども、対象経費の5%以内ということで、上限が2,000万円ということでの交付要綱となっております。

一応、雇用の関係も新規で雇用していただくということで、計画書見ますと3年で10名の新規雇用を予定しているということでございます。長島製作所は製造業に位置づけられておりますので、規定上では3人以上雇用、将来的に雇用するということでありますけれども、計画では3年で10名ということの雇用計画となっております。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

次に、97ページの4目12節委託料の、誘客貸出画像更新業務委託料88万円、これは新規事業で貸出しの画像はどこで貸し出すのか伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

97ページの観光振興費の12節委託料の誘客貸出画像更新業務委託料88万円、これは新規になりますけれども、町のほうで貸出ししている画像でございます。それぞれ申請いただくわけなのですけれども、今、持っている画像が実は2006年ということで、もう20年前の画像で、それを貸出ししたり、旅行業者の商談のときにもそれを使っておりましたので、かなり古くなっているということで、今回、四季折々のいろいろイベントの風景とか画像を新しく作って、画像更新をしたいということでございますので、今回作れば当分使っていきたいということで考えているものでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

その画像はどこで貸し出すのでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

貸出しのほうは当課でやっておりますので、申請をいただければ貸出しできますので、よろしくお願いします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

97ページ18節の中の世界遺産連携推進実行委員会負担金500万円なのですが、前年度比100万円増となっております。様々な今年はイベントあると思うのですが、その詳細について伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

同じく、97ページの18節の負担金補助及び交付金でありますけれども、世界遺産連携推進実行委員会の負担金500万円でございますが、昨年度400万円で今回500万円ということで100万円増となっておりますが、ご存じのとおり、今年、令和8年は世界遺産登録15周年と、あとは中尊寺落慶900年の節目の年ということで、大きな事業といたしましては、世界遺産祭 in 平泉ということで、8月29日土曜日から30日の日曜日、2日間、平泉スマートインターチェンジの駐車場のほ

うで世界遺産祭を開催するというので、今回増えているわけであります。

それで、昨年イベントとして、同じくスマートインターのほうで、8月で開催をしました
が、そのときは世界遺産連携で奥州市、一関、平泉町、県南局の実効委員会で開催をしました
が、今回岩手県、県庁のほうになりますけれども、県のスポーツ文化部で3つの世界遺産とい
うことで、持ち回りでやっておりますけれども、今年は合わせて平泉のほうでやるというこ
とで、県庁のほうにも実行委員会に今年限り加入していただいて、盛大に開催するとい
うことで、去年より規模を大きくして開催するというものでございます。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

1 番、小埜寺享委員。

1 番（小埜寺享君）

97ページの12節委託料の中に、ゆるキャライラスト作成業務委託料ってあるのですけれども、
これは何なのでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

これにつきましては、平泉のキャラクターであります「きよひら君」であります
が、かなりSNSで発信をしてフォロワーが増えてきております。ここ1、2年で急激に増えて
おりまして、Xですとかインスタ、あとはT i k T o k、写真関係で、今、12万人を超えて
いるフォロワーがあります。

そして、このイラストでありますけれども、このイラストにつきましては、その
フォロワーも増えてきて、イラストのほうを新たに追加作成をして、どんどんSNS
のほうで画像、イラストを追加してPRしたいということで、今回新規で38万5,000
円を計上したものでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

小埜寺享委員。

1 番（小埜寺享君）

そのイラストというのは、イラストを専門に作る方に依頼するということですね。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

業者のほうはまだですけれども、町内の印刷業者とか、デザインをいろいろ考
えて、画像というか、イラストとしてSNSのほうで公開するということで、詳しく
はまだこれからになります。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

6 番、三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

95ページの18節負担金補助及び交付金の関係で、先ほど地域企業経営継続のほうを聞いてそれは分かったのですが、その下の起業・事業承継支援事業費補助金です。前年度の予算だと50万円だったかな、令和6年度決算が230万円ほどあって、今度は150万円というふうになっていますが、前段の上の継続とは関係はないのだろうと思うのですが、これはどういうふうに使われているというか、予算の関係、決算の関係でちょっとこの差異があるというのかな、それなので、どういうふうになっているのか伺いたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

95ページの18節の起業・事業承継支援事業費補助金150万円でございますが、令和7年度は50万円で、今回150万円を計上しておりますけれども、内容につきましては、町内で起業する方、個人または町内事業者の事業承継を受ける場合に補助金を交付をしているものでございますが、近年、地域おこし協力隊も来ておりますので、そちらも対象となるケースもございます。

Uターン、Iターン、Jターンにつきましては100万円ということで、その他につきましては50万円という支援制度になっておりますが、近年の実績でございますけれども、今年度は4件が申請がありまして、1件は完了してもう補助金は支払っております。今、3件の分はこれから精算となりますけれども、前年度の令和6年度につきましても、4件の実績がありますので、そういった形で推移をしております。新年度につきましては、2件計上しているところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

その件について、地元のというのか、ずっと平泉で商売やってこられた方のその継承というようなことでつながった方というのは何件あるのですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

令和7年度につきましては、町内の方、長島の方でありますけれども、新たに起業した方、1件になります。あとの3件は地域おこし協力隊の予定でございます。

令和6年度につきましては、新規の方が1名、地域おこし協力隊が2名、あとは事業承継された方が、町内1名ということで、4件となっております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

8番、高橋伸二委員。

8 番（高橋伸二君）

95ページと97ページ、それぞれ負担金補助金及び交付金の節があるのですが、昨年3月の7年

度予算の質疑の中で、いわゆる法人に対する補助事業の扱いについて、要綱を定めて明確にすべきではないかと、このようにただしてきました。それはいかようになっておられるでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

昨年3月の予算委員会の総括質疑のほうで質問があったわけですが、最後に要綱を作成するのかというようなところで、そのやり取りの中で、今、契約書のほうは策定しているという答弁はさせていただきました。

それで、新年度、令和8年度迎えるに当たりまして、今、策定の準備をしているところでございます。内容について、運営費補助になりますけれども、当課で所管しております一般社団法人平泉観光協会、商工会、シルバー人材センター、駅なか案内所の補助金交付要綱を、今、進めて作成を準備をしているところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

高橋伸二委員。

8 番（高橋伸二君）

丸々1年たっているわけです。そして、しかも昨年の予算審議の中で、それまでのやり方はまずいのではないということから、私は少なくとも令和8年度予算が策定される前段で要綱がつくられてあるものだというふうに思っていますが、作成準備中だというのは、そのわけはどこにあるのですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

まずは、先ほどの繰り返しになりますけれども、まず契約書については、今、やっておりますので、いずれ作成するしない、あと内容も含めて検討をしていたということもありますし、あとは、県内の市町村のその状況なども調査しておりましたので、今年4月から開始ということになります。

予算特別委員長（氷室裕史君）

高橋伸二委員。

8 番（高橋伸二君）

契約書の問題は、昨年の3月の議論、質疑の中でクリアしている話なのだから。しかし、他の自治体の状況を調べるのに1年もかかったのですか。

それでは、もう一つ伺いますけれども、この補助事業に伴う事務事業評価やりましたか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

今年度につきましては、事務評価は、この件については実施しておりません。

予算特別委員長（氷室裕史君）

高橋伸二委員。

8 番（高橋伸二君）

昨年3月10日の予算総括質疑の、私の質疑議事録を読み返してください。何て答えているのですか。これ以上言いません。終わります。

予算特別委員長（氷室裕史君）

答弁はよろしいですか。

8 番（高橋伸二君）

答弁は要らない。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

2 番、千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

96ページの7款1項4目観光振興費、8節の旅費の中で、町民号に随行する職員の旅費の金額についてお知らせ願います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

96ページの観光振興費の旅費の普通旅費でありますけれども、50万9,000円の中に町民号の旅費入っております。職員1名分で20万6,000円の旅費が計上されております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

町民号の訪問先とか、日程、募集人員、参加費用についてお知らせ願います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

訪問先につきましては、内容についてまだ確定ではありませんが、11月に九州方面を予定しているというところで、取りあえず予算措置はしております。募集人員のほうは、60名程度ということでありますけれども、参加費用については、概算で18万から20万円ということで見積りをいただいておりますので、その概算費用になりますけれども、予定をしているところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

参加費用もそうですけれども、参加者が日程何泊になるか分かりませんが、参加者が支払うホテル代金は幾らということで見込んでいますか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

ホテル代のほうではございますけれども、まだ実際、業者もエージェントさんも決まっておりますし、ホテルも予約はしておりませんので申し上げることはできないのですが、ここ近年のホテル代は2泊で6万5,000円ぐらいが平均ということで、実際ホテルのほうはかなり高騰しておりますし、東京のビジネスホテルでも、今、1万円では泊まらないということで、この町民号でありますけれども、温泉のほうで泊まってきておりますので、なかなか年配の方も多くて温泉でゆっくりしたいというご意見もありますので、どうしても高くなってきているというのが実情でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

町民号は、いつも大体遠いところに行っているようですけれども、この訪問先の選定方法はどのような形でやっているかお知らせください。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

訪問先につきましては、実は参加者の方、半数ぐらいになるかと思うのですが、常連の方もいらっしゃいます。その方から要望というか、来年ここに行きたいなというのは、意見は寄せられております。そういったものも参考にしながら、あとは実際旅行会社から提案をいただいて、それらを含めて決めているのですが、最終的には、当課事務局と団長であります町長との話をして、旅行会社も決めますし、方面も決めるということで、今現在、まだ確定はしていません。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

分かりました。あとは総括のほうで、また再度質問させていただきます。

あとは、97ページの12節委託料ですが、平泉観光PR動画制作業務委託の中で、この委託内容について、外国語対応、インバウンド対応のやつもあるのかどうかも含めて、委託内容についてお知らせください。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

97ページの12節委託料の平泉観光PR動画制作業務委託料187万円ではありますが、これは令和7年度も、今、実施しておりますが、令和7年度は、各業者から提案をいただいて業者選定に時

間がかかって、春の分、4月、5月の分が動画が撮影できなかったということで、今年度も追加いたしまして春の分を動画制作をします。これはSNSのほうにもアップしてもらうのですが、外国語対応もということでもありますけれども、英語のほうは、対応はしたいというふうに考えております。特にインバウンド、多国、5か国語とか、韓国と中国とか、その部分は対応は予定しておりませんが、取りあえず英語で対応して、ほとんど画像とか、あとは音楽が中心でありますので、特に文字のほうはそんなに多くございませんので、そういったことで今回委託を考えているところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

平泉はインバウンドで、やっぱり台湾の方が多く見られておりますので、やっぱり台湾の方々に提供する、そういった動画を作成して提供したらよろしいかと思っておりますので、その辺はよろしくをお願いします。

あと、最後になりますが、同じく、97ページの18節負担金及び交付金でございますが、観光協会に対する補助金でございます。先日観光協会の通常総会に出席してきましたが、春の藤原まつりのクラファンで得た250万円の収益があったようです。それで令和7年度の決算では、そのクラファンで得た250万円の収益にもかかわらず120万円の赤字という報告でした。

観光協会につきましては、町と連携し、平泉の歴史的価値と世界遺産としての魅力を国内外に発信し、観光客誘致の推進の役割を担っている団体と私は認識しております。その観光協会の財政基盤が厳しい状況下において、十分な事業展開が実施できるか不安視しております。町として、現在の観光協会の運営状況につきましては、十分把握していると察しておりますが、今後の支援体制の方向性について見解を伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

観光協会の今後の町としての支援体制というご質問であると思うのですが、私も先日総会のほうには出席をしておりますし、理事会のほうも、町は会員ではありませんのでオブザーバーとして出席をしております。

委員ご承知のとおり、令和7年クラウドファンディングやっても130万円ほどの赤字でありますし、その前が220万円ほどの赤字ということで、総会資料を見ますと350万円ほどの赤字ということで、これについては、借入れで取りあえず補填するということになろうかというふうに思います。こちら町としても、まず補助金については、昨年からご指摘はありますので、まず自主財源増やしていただいて、自立というか、やっていただきたいというふうに考えております。

決算の見て分かるのとおり、町の補助金が令和7年度で大体4割ちょっとぐらいの、全体に、決算に占める割合が41%ぐらいでありますし、会費収入も30.7%ということで、合わせますと42%ぐらいなると。それが会費と町の補助金でありますので、実際その事業収入というのが6%ぐら

いかございませんので、今、一般社団法人になりましたので、きちんとその事業を展開をしていただきたいというのは、町としても、今、これまでもお願いをしているところでございますが、ただ、なかなか事業収入、収益のほうが上がらないというところで、ずっとここ数年、議論はして、町としてもいろいろお願いなり、町としてもいろいろ提案はしてきました。

そんな中で、昨年10月にようやくレンタサイクルも10台でありますけれども、その売上げも今回、ちょっと時期が遅くなったというのがありますけれども、本来もっと2年前ぐらいにやるということだったのですが、なかなかできなくて10月なったわけですが、それで徐々にでありますけれども、収入のほうも上がっていますので、昨年の予算委員会でもありましたが、やはりすぐに補助金を削減というのは難しい状態でありますので、今後も町として、いろいろ提案なり、指導もしながら、自主財源を確保に努めていただいて、ずっとこのまま補助をしていくという考えではありませんので、そこの辺は委員皆様のご理解を頂戴したいというふうに思いますので、町としては、そのような考えでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、98ページから108ページの8款土木費についてご発言願います。

6番、三枚山光裕委員。

6番（三枚山光裕君）

102ページです。ウオーキングトレイルについて、2目14節工事請負費です。まず1つ、この年間100万円ということで、この間、修繕を毎年進めてきたということなのですが、新年度に向けて、国なりの補助の制度、そういった申請なり取り組みというのはあるのかということ、まず伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

補助制度のことでしょうか。

（「そうです」の声あり）

建設水道課長（小野寺敏彦君）

令和7年9月会議におきまして、委員のほうから質問がありまして、そこから補助メニューについて検討いたしまして、官公庁の補助事業メニューについて問合せをいたしまして、やはり修繕は対象にならないということで、一応、官公庁の地域一体となった持続可能な観光地経営推進事業というのがもしかしたら対象になるのではないかとということだったのですが、やはり修繕等は対象にならないということでしたので、従来どおり修繕のほうの100万円ということで対応したいということでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

三枚山光裕委員。

6 番（三枚山光裕君）

ちょっと確認ですが、いわゆる修繕が対象にならないということでいいですね。

予算特別委員長（氷室裕史君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

そのとおりでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

7 番、真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

103ページ、4 目の橋梁維持費であります。今年度の補修工事、この箇所はどこになるのでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

令和7年度で新井田橋を行う予定でしたけれども、補助が満額つきませんでしたので、4割ほどしかつきませんでしたので、新井田橋の改修費、ちょっと金額が高いわけですが、令和7年度に山谷橋というところをやりましたので、令和8年度に再度新井田橋ということで計上させていただきます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈光幸委員。

7 番（真竈光幸君）

その計画の長寿命化の計画の進捗率は、今、何％になっていますか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

橋梁の長寿命化修繕計画、令和5年度に作成しましたが、修繕期間が令和6年度から令和15年、10年間のうちの、今、3年目となっておりますけれども、事業費ベースで32.4%でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにありませんか。

3 番、大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

108ページの14節工事請負費の中で、高田前団地排水設備工事費あるのですけれども、今現在

高田前住宅は、何棟中何棟入っているのでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

後刻でお願いしたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友委員、後刻でよろしいですか。

3 番（大友仁子君）

はい。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、109ページから112ページの9款消防費についてご発言願います。

小埜寺享委員。

1 番（小埜寺享君）

111ページの3目消防施設費の中の17節備品購入費の中で、小型動力ポンプ付積載車購入費1,384万6,000円ってあるわけですが、2年前に、令和6年に1台、7分団の車両を買っていると思うのですが、そのときには3,190万円ということで計上なっているのですけれども、この差額は何なのか教えていただきたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

今のご質問、消防車両の備品購入費の小型動力ポンプ付積載車購入費1,384万6,000円ということで、過年度においての消防車両との購入額の違いでございますけれども、7分団の購入につきましては、ポンプ自動車の購入でございました。そして今回は小型動力ポンプ付積載車でございますので、形式が違うものでございますので、そのようなことと、それから、この積算に当たりましては、昨今の物価高等の資機材等の高騰も踏まえて、見積りを取った中での予算計上とさせていただきます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

よろしいですか。

ほかにございませんか。

11番、升沢博子委員。

11 番（升沢博子君）

110ページです。18節負担金補助及び交付金の中の婦人消防協力隊福祉共済制度負担金という

ことで、同額が毎回計上となっておりますけれども、過去に使うような事故なりがございましたけれども、近年はこの執行はどういう状況でしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

こちらの共済掛金、保険ですね、保険適用のけが等があればですけれども、本年度においては、特にそういう大きなけが等でこの共済費を使用したということは、まだ私のほうでは把握はしてございません。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

今年1月25日ということで、厳寒の中という出初め式がございましたけれども、本当に女性にとっては、協力隊の人たちも非常に厳しい環境の中で、やはり地域で消防団もそうでしょうけれども、協力隊の隊員もなかなか次に渡せないとか、高齢化をしているということで、各地域が新しい隊員の選定に苦労している状況であります。

特に今年感じたのは、やはり非常な低温の中、あの時間帯の起立した状態でかなり厳しいのかなと思いながら感じたところなのですけれども、そこについて、ほかの一関とかそういったところの大きな体育館の中でのそういった行われているところもあるようなのですけれども、そこについて、見解を伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

今の1月25日の文化財防火訓練での厳しい気象環境の中での訓練ということで、本番さながらの訓練を、平泉町は文化財を守るということのご理解を、消防団員、そして協力隊員ほか、いろんな自主防災の組織も含めて、皆様のご理解をいただきながら進めてまいりました。

それで、一関市等が室内で訓練を行っているといったような状況も把握してございますが、一関市の中にも様々な考え方がございまして、いろいろ団員とか隊員の負担軽減を図る目的でのそういう条件を変えて行うといったようなことについては、一定の理解が得られているとは思いますが、それとまた一方で、技術的な部分の習得がなかなかうまく、規律訓練等も含めてそういう機会が少なくなったことによる、そういう技術力の低下といえますか、そういった継承といえますか、そういったことの懸念も一方ではございます。

それで、話が戻りますけれども、その気象条件が厳しいといったようなところの中では、今回も雪が、降雪がかなり多かったものですから、一部室内で行うことも検討はいたしました。しかしながら、関係者の声を伺いながら、屋外でこれまでどおり実施するというのを、消防団を中心に決定いたしましたので、決して町のほうで一方的に決めたわけではございませんけれども、いずれ今後もそういう訓練の在り方といったものは、やっぱり文化財というか世界遺産を抱える

町として、町内外にこういう団員とか隊員の方の有志をお見せするといったような機会も、そういった意味合いもございますし、何よりも文化遺産の継承といったようなところに町民の皆様が結集しているというようなところがございますので、その辺は町民の皆様のというか、関係者の皆様のご意向を伺いながら、一部変更するといったようなところも含めて、今後検討させていただきたいなというふうに考えております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

やはり高齢化とか、そういったところでなかなか隊員が集まらないということもあるのですけれども、1分団1分隊の団員の方が言っていたんですが、点検の中で、やはりクマの出没とかそういうことで、やはり隊員は参加させないで点検に回ったという、1分団1分隊はそういう経緯もございました。やはりそういうところで考えていただくということも、やはり必要なのかなというふうに思いますので、その辺よろしくお願ひしたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

8番、高橋伸二委員。

8番（高橋伸二君）

109ページの2目1節の報酬のところです。令和7年度の予算と、機関員と団員の数が、人数も金額も同じなのです。思い出していただきたいのですが、同僚議員の質疑の中で、いわゆる消防自動車を運転する団員の数を増やしていきたいと、こういう答弁がされてきたわけですが、少なくとも、この令和7年度予算と令和8年度予算を比べてみても、当該の人数は変わりないわけです。その中で、消防自動車が運転できる団員を増やすということは、機関員以外であっても、一般の団員でも消防自動車は運転できるというふうに制度を改めるということなのですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

現在45名の機関員ということで、それぞれの各分団のそういう状況、機関員が不足しているかどうかの状況、これらを踏まえながら、今後検討は必要なのですが、現時点で即、機関員を団員との人数を調整するといったような対応はまだ必要ないというふうに判断しておりまして、むしろ今回予算計上させていただいております機関員として任命するための運転免許の制度の改正による、そういったことの補助も今回予算化しておりまして、そういった形での機関員の確保、充実を図るというような、そういう方針でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午後 3時07分

再開 午後 3時18分

予算特別委員長（氷室裕史君）

再開いたします。

先ほどの大友委員からの質疑に対し、小野寺建設水道課長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

先ほどの大友委員からの108ページ、住宅管理費の14節高田前団地排水設備工事費における高田前の管理戸数と入居戸数についてですけれども、高田前の管理戸数が平屋を含めまして94戸に対しまして、現在入居戸数が52戸でございます。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

今現在入っていない部屋は結構老朽化しているのです。そういうところは、今すぐ改修とか、誰かが入る見込みのときに改修するのか、その辺の考え方はどうでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

基本的に退去されたときに、次の人をすぐ入れるようになるべく早く修繕はしているところでございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

大友委員、よろしいですか。

それでは、引き続き9款消防費についてご発言願います。

ございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、113ページから124ページの10款教育費のうち、1項教育総務費、2項小学校費、3項中学校費についてご発言願います。

11番、升沢博子委員。

11 番（升沢博子君）

117ページ、1項3目18節負担金補助及び交付金の中の部活動地域移行支援補助金51万5,000円の中身について、お知らせをお願いいたします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

117ページ、18節負担金補助及び交付金の部活動の地域移行の支援補助金51万5,000円ですが、こちらにつきましては、現在教育委員会におきまして、平泉中学校の部活動の地域移行、地域展開というような形で、今現在取り組みを進めているといったようなところでございます。

その取り組みの中の1つとしてですが、現在平泉中学校の部活動が4時半頃に終了するといったようなところで、その後、各部におきまして、育成会練習が6時から開催されると、始まるといったようなところで、その間のまず1時間半といったようなところで、いずれ4時半以降、まず中学校は完全下校となりますので、その間の見守り、こどもたちの見守り活動といったようなことに対する補助金といったような形になりますので、各部ごとにそれぞれ育成会ということで、週に2回程度、夜間練習といったようなことがありますので、そういった夜間練習までにおける、例えば1回家に帰るとか、そういったことによりまして事故等ないように安全確保のためといったようなところで、そういった見守り活動に対する補助といったようなところでございます。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

そこを担っているのは、どこが担っているのでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

实际的に補助金につきましては、中学校の育成会に補助はするのですが、実際的に見守り活動を実施しているのは、町のスポーツ協会さんのほうに委託しているといったような状況でございます。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

そのところで、平中文化・スポーツクラブという組織をつくって、それをスポーツ協会に委託するという形になっているわけですね。先生方は4時半から6時までの間は関わらないということでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

委員おっしゃるとおりで、これまでは見守り活動、今年度からスタートしたわけですが、やはり4時半から6時まで、今まではそういったことを実施してごさいませんでしたので、教職員が対応していたというところでございますが、こういったことから、現在は、教職員はこの分に関しては対応していなくて、スポーツ協会さんのほうで対応しているということで、働き方改革にもつながっているといったような状況でございます。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

よろしいですか。

ほかにございませんか。

7番、真竈光幸委員。

7番（真竈光幸君）

119ページの2項小学校費の1目学校管理費であります、12節の委託料の食材処理の費用なのですが、児童数の減少によって、本来は減ってしかるべきなところなのですが、この食材の廃棄処分量が毎年高騰して上がっているという、その事由を教えてください。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

119ページ、12節委託料の給食食材処理委託料339万6,000円というようにございますが、こちらの内容につきましては、児童生徒数減少というところもございますが、こちらの内容につきましては、米飯の加工であったり、小麦購入、餅加工、精米といったようなところになりますので、そういった作業にかかる委託料というように形になりますので、業者のほうからは見積りをいただきながら、こういった予算計上といったような形になってございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

真竈光幸委員。

7番（真竈光幸君）

原材料ということではなくて、加工料自体が上がっているということですか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

委員おっしゃるとおり、そのとおり、いろいろな作業にかかる委託料の高騰というように状況となつてございます。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

3番、大友仁子委員。

3 番（大友仁子君）

給食費の関係で伺いますが、今年の4月から、小学校が国からの支援で1人5,200円の補助が出ます。平泉町の場合は、1人当たり5,200円で賄えるのか、お伺いします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

小学生の給食費の無償化ということで、まだ国のほうから詳細なものは、まだ示されていないというような状況ではございますが、現段階で把握しているのが、まず1人当たり5,200円掛けるまず11か月分というような形で、年間にしますと1人当たり5万7,200円かなというようなところが、今のところ無償化としての歳入として見込まれる額であります。

それで、当町といたしましては、今現在、給食賄い費1人当たり4万8,800円というような形にしてございまして、物価高騰分を見込んではいるところではありますが、いずれそういった形で、今後その物価高騰分ということで4万8,800円に係数ははっきりしたところ私あれなのですが、いずれ物価高騰分に対して、この5万7,200円に不足する分につきましては、いずれ来年度の交付金を活用しながらということで、保護者に負担をかけることなく取り組んでまいりたいとは考えております。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

114ページの10款1項2目事務局費の7節報償費のスクールガードの温泉優待券でございますが、優待券につきましては、昨年の令和7年度までは、各スクールガードの方に5枚ということで、教育委員会事務局に聞くと、予算の中では3枚に減額されたという話ですけれども、その減額、枚数を減らした理由についてお伺いします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

スクールガードの皆様への温泉優待券というようなことにつきましては、こちらにつきましては、これまで年5枚といったようなところで交付してきたところでございますが、温泉の入館料がまず500円から700円に、今、改定されたといったようなことを踏まえまして、当初予算におきましては、年3枚といったようなことで見直しを図ったということでございます。

今回の見直しにつきましては、こういった入館料の改定といったようなものはございますが、ほかの優待券の配布の事業といったようなものもございまして、そういったものの均衡、整合性といったようなところも今回改めて総合的に勘案して、今回こういった形になったというような状況でございます。

以上です。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

スクールガードの方はボランティアでありまして、雨の日も雪の日も、児童生徒の安全を守るために、毎朝忙しい中、街頭に立って子どもたちの交通安全に寄与されている方々です。配布枚数を減らしたということは、本当にスクールガードの方々のご労苦に対して、教育委員会の誠意が全く見られません。教育長は、スクールガードの方々に対して本当に感謝の気持ちをお持ちですか。伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

吉野教育長。

教育長（吉野新平君）

スクールガードの皆様には、児童生徒の登下校の安全安心に関わって、本当にご尽力いただいております。感謝しております。また、さらにはスクールガードの皆さんが、朝とか、それから帰りの時刻に学校周辺、それから地域のところに立っているということだけで犯罪や事故の抑止の効果もありますし、それから安心感もそれぞれ町民の方も抱いているのではないかなというふうに思っております。

ですから、多嘉男委員ご指摘のとおり、大変私も感謝の気持ちを抱いております。それを形に表すというのがなかなか難しく、例えば子どもたちにも、やはり学校を通してスクールガードの皆さんに会ったならば元気よく挨拶をしましょうというような指導はしております。手前みそではありますが、その声をかけてくれるととってもうれしいという声もスクールガードさんからいただきます。そのような形で、目には見えないような感謝の仕方というのは、もちろん学校を通して子どもたちの中からも芽生えているのかなと思います。

教育委員会としまして、優待券が少なくなったからといって感謝の気持ちが少なくなったということは毛頭ございません。限られた予算の中で、今年度はこのような対応になったということでご理解をいただきたいと思ひますし、それから、今後もスクールガードの皆さんには、子どもたちの安全のためによりしくお願いしたいなと思う気持ちでいっぱいでございます。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

教育長の感謝の気持ち、私の心に伝わりました。ありがとうございます。

117ページの10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費の中の1節報酬、会計年度任用職員の報酬の内訳について伺います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

117ページの1目学校管理費の1節報酬の会計年度任用職員の報酬でございますが、こちらにつきましては、特別支援教育支援員の報酬といったようなところで、平泉小学校4名、長島小学校2名分の報酬となっております。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉多嘉男委員。

2 番（千葉多嘉男君）

支援員の数ですけれども、昨年と比較すると何人か減っているようですが、教育委員会のほうでは、小学校の各学年・各学級における児童の学習姿勢を学校と協議の上、十分に把握して人数を減らして予算要求をしたのかお伺いします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉多教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

こちらの特別支援教育支援員の配置につきましては、まず各学校から来年度の支援を要する児童生徒の人数や、あとは支援を必要とする具体的な理由といたしますか、内容につきまして報告を受けているというようなところでございます。

それで、教育委員会といたしましては、そういった学校からの報告であったり、もちろん日常的に教育相談員、教育委員会にも配置してございますので、教育相談員が日常的に学校のほうに伺って、各学校の状況を把握しているといったようなところもございますし、あとは教育相談員が各学校の教職員方とも面談等を行って情報共有をしているというような状況でございます。

そういった情報共有なり、学校からの報告といったようなものを把握して、そういった状況を踏まえて、今回こういった特別支援員のそれぞれ1名減となっておりますが、そういった形で今回は配置したというようなことでございますので、学校の実態を全く踏まえずにといったようなところではなくて、そういったところを判断しながらといったようなところでございます。

配置に人数の決定につきましては、支援員を必要とする児童生徒の状況といったようなものや支援内容を総合的に勘案して、支援の必要性に基づいて判断して、その中ででも、学校全体の体制で適切に対応できるかどうかといったようなところも判断しながらというようなことで、総合的に判断した結果、今回このような形になったというような状況でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉多嘉男委員、よろしいですか。

ほかにございませんか。

千葉勝男委員。

10 番（千葉勝男君）

スクールガードの関係ですが、実は私どもの大平部落で過日、総会を開きました。今のスクールガード、今回は誰やという話になって、いろいろ話合いをしましたが結果的に決まりませんで

した。今後決まらない場合に、罰則あるわけでも何でもないと思いますが、いずれこれは必ず出した上に越したことはないと思いますが、どうなのですか、これは。

予算特別委員長（氷室裕史君）

吉野教育長。

教育長（吉野新平君）

まず、スクールガードの皆さんの選出方法につきましては、2年ぐらい前からのことをちょっと遡りますが、いつも21の民区ごとに何人というふうに、教育委員会のほうで機械的に分けて選出を区長さんをお願いしていた経緯がございます。それが長らく続いていました。ところが、やはり人数が減ってきているとか、高齢化のことで、区長さん方もあるいは区の皆さんも、毎年、毎年必ず出すことがちょっと難しくなってきたというような声を2年ぐらい前に区長さんのほうから聞きまして、それではということもあり、やはり一律に区から出すということは、一見、公平性は保たれているというような気もしますけれども、やはり実態にそぐわないのではないかという話も出まして、例えばこどもさんがいない地区もあったり、本当に極端に少なくなっている地区があったり、あるいはここをもう少し厚くしたほうがいいのかという地区もあるのです。

なので、これはもう小学校ごとに、やはり実態に応じて考えたほうが柔軟に対応できるのではないかという考えから、去年あたりから学校運営協議会、コミュニティスクールを中心に、教育委員会から頼むのではなく、それぞれの小学校区単位でボランティアとして募集して、そしてその中で、あるところは厚く、あるところは薄くというような調整をして試しにやってみたほうがいいのかという流れで、今、進んでおります。

ですから、出されない地区はそれでいいのだと思います。その中で、学校の中で話し合って進んでいったらいいのではないかというふうに、今、進んでおりますので、そこら辺を見守っていただいて、ご助言いただければというふうに思っております。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

9 番、佐藤孝悟委員。

9 番（佐藤孝悟君）

直接数字とは関係ないのですが、SNSの……

予算特別委員長（氷室裕史君）

孝悟委員、ページ数をお願いいたします。

9 番（佐藤孝悟君）

ページ数はあまり関係ないところですが、SNSのことでちょっと聞きたいのですが、SNSでのやり取りをきっかけに、2025年に犯罪被害に遭った18歳未満のこどもは前年から8人増の1,566人で、6年ぶりに増加した。うち小学校は31人増の167人で、統計のある2008年以降で最多となり、2021年の83人から4年間で倍増したと警視庁が発表しております。

あまり関係ないかもしれませんが、ひしひしとそういう状況に近づいているような気がします。こういう格好で、SNSの関係で、犯罪に巻き込まれたという状況は、この地区ではないですか。お伺いします。

予算特別委員長（氷室裕史君）

吉野教育長。

教育長（吉野新平君）

今、SNSによって、いろんな事件や事故に巻き込まれるというご質問だったと思いますが、やはり小さな問題もいろいろと町でも出ております。今のところ、大きな問題になる前に細やかにすぐ対応して、適切に対応して大きな問題までなっておりませんが、この間、町民の集いにもありましたとおり、情報モラルについては、やはり子どもたちだけではなくて、保護者も、それから地域もみんなで考えていかなければいけないというふうな、もう流れになっておりますので、やはり今後も来年度も、また情報モラル教育については、しっかりと充実させて行っていきたいと思っております。

以上です。

予算特別委員長（氷室裕史君）

佐藤委員、本委員会、予算委員会ですので、予算書あるいは予算分析書に応じた質問のほう、今後お願いいたします。

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、125ページから135ページの10款教育費のうち、4項社会教育費、5項保健体育費についてご発言願います。

11番、升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

134ページの教育費、5目1項保健体育総務費の中の18節負担金補助及び交付金の中に、先ほど質問した教育振興費の中の部活動の地域移行についてとも関連はすると思うのですが、この補助金の中に、平泉町スポーツ協会補助金という形で計上されております。先ほどの振興費の中の移行についての見守りの人件費だというふうに伺って、50万円何がしがです。ここの中の補助金、多分人件費に絡むものなのかなと思うのですが、この部分がちょっと162万円から140万円に減額になっているのですが、この中身についてお伺いしたいと思います。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

134ページの18節負担金補助及び交付金の町のスポーツ協会補助金140万円の関係でございますが、先ほどの部活動の地域移行の関係というようなところでございますが、この件に関しまして

は、委託自体、平中文化・スポーツクラブというのは、スポーツ協会の中に立ち上げているところではございますが、この補助金の中に、その地域移行、地域展開の分に関する費用については含まれていないと。あくまでも先ほどの地域移行の補助金の中に、見守り活動と、あとは一部人件費に係る補助につきましても、先ほどの補助金のほうに含めているというような形で、こちらにつきましては、あくまでも町のスポーツ振興に係る補助金といったようなところとなっております。こちらにつきましては、若干やはり現年度と減額なっているというようなところではございますが、こちらの内容につきましては、これまでの事業実績であったり、あとは執行状況といったようなものを踏まえながら、必要額を精査した結果、こういった形で算定したというようなことでございます。

それで、スポーツ振興の重要性といったようなところは、金額を減額したからということで、重要性といったようなところにつきましては従来と変わることは全くないというようなことで、引き続きスポーツ協会さんと連携しながら、スポーツ振興に取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

そこに続きまして、135ページの12節委託料の中の、社会体育施設運営委託料ということで、これも減額になっているようですけれども、これはどういった予算なのでしょうか。

予算特別委員長（氷室裕史君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

135ページの12節委託料の社会体育施設運営委託料320万2,000円というようなことでございますが、こちらにつきましても、社会体育施設というようなことでの予約等の受付といったようなところで、スポーツ協会さんのほうに委託しているところでございます。

こちらの額につきましても、これまでの業務内容であったり、そういったものを精査しながらというようなことで、委託業務の範囲や必要額を改めて精査、確認した結果、こういった算定額となったというようなことでございます。

また、今回公共施設予約システムといったようなものも、導入するといったことによりまして、いずれ一部ではありますが、そういった受付業務が軽減されるといったようなこともございますので、そういった実態に即した形で積算を行った形で減額となったというようなことでございますので、施設の安全管理やその利用者のサービスの水準というようなものは低下させずに、今後でも取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

予算特別委員長（氷室裕史君）

升沢博子委員。

11番（升沢博子君）

分かりました。管理人も昨年、置かないことになったようですので、やはり予約というところもスポーツ協会が行うという、今、答弁にありましたので、そのお二人いらっしゃるようすけれども、そういったところの人件費も含めた額なのだと思いますけれども、やはり地域移行ということで負担も増えてくるのかなというところもありまして、ちょっと心配をしているところでございますので、やはりその辺は検討していただきたいというふうに思っております。

予算特別委員長（氷室裕史君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、136ページから138ページの11款災害復旧費、12款公債費、13款諸支出金、14款予備費についてご発言願います。

ございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

次に、139ページから150ページの給与費明細書ほか、説明書についてご発言願います。

ございませんか。

（「進行」の声あり）

予算特別委員長（氷室裕史君）

進行いたします。

これで歳出を終わります。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

なお、次の本委員会は9日午前10時から行います。

ご起立ください。

本日はこれで散会いたします。

ご苦労さまでした。

散会 午後 3時50分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

予算特別委員長 氷室 裕史